（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）　（年中無休刊（大祭日翌日休刊））

京城日報

三日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分壹圓六拾錢 六ヶ月分… 一ヶ年分…
廣告料 五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字…… ▲四號活字……
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局…番 營業局…番 振替貯金口座京城…番

時間表 [illegible]

第卅九回特別帝國議會

衆議院（三）

▲第二分科會　衆議院

第二分科會は二日午後一時半午前に引き續き開催黒須龍太郎氏（憲政）より朝鮮の財政獨立及鮮民愛撫上の方針教育施設と國民的精神の注入に關し質問する處あり之に對し後藤內相及び鈴木政府委員より朝鮮財政獨立は豫期の如く進行しつゝあり又之が爲めに鮮民の負擔を重からしむる事なしと信ず鮮民及び在鮮內地人の教育に就ては細心の注意を拂ひ居れり相當の効果を擧げつゝありと信ず黒須氏は尙ほ教育國庫補助及び教員優遇に關し説明を求め鈴木政府委員は朝鮮には學校財產あり別に教育費約四百五十萬圓を支出して相當の施設あれば改めて國庫補助の必要無し教員待遇に就ては充分優遇の質を擧げ居れりと答へ山田珠一氏（憲政）より今春後藤內相が伊勢神宮遷御式に參列の際大廟にて撮影せし不敬事件に關し後藤內相の答辯を求めたるに後藤內相は佛然色をなし余が大廟內の撮影は神宮の許可を得て爲したるものなれば決して不敬に非ず斯くの如き事例は先例多しと答へ質問未了の儘五時散會せり

▲第五分科會　衆議院

第五分科會は二日午前十時開會井原百介氏（憲政）より漁業令改正に關する質問あり上山次官之に對して調査中なりと答へ奥田鑑藏氏（政友）は水產獎勵の大體方針の說明を求め之に對し上山次官說明あり尙ほ氏は遠洋漁業費の增額補助期限の延長及び漁港の修築等に就き質問し上山次官は遠洋漁業は一層獎勵せん意嚮を有す漁法に就ては目下種々調査中なりと答へ正午散會

▲第六分科會　衆議院

第六分科會は二日午前十時開會正木照藏氏（憲政）の質問に對し田遞相は商船保護の爲め艦艇を派遣せるは獨逸潛航艇を掃蕩するの目的なり獨逸が日本の地中海派遣以來努めて日本船舶を追擊する方針を執れりとの事實は認むる能はずと答へたり（東京特電）

▲會期延長か

衆議院にては追加豫算を五日を以て分科審査を終へ五日午後豫算總會を開きて決定し七日本會議に附し確定して貴族院に送附す可し政府提出案が貴族院に送附さるゝは七日なるを以て斯くては餘す處僅に六日間にて審査の日時無きより同院は案の內容に關し充分に審査する方針なるより政府は二日或は三日の會期延長を奏請す可し（東京特電）

支那の形勢

▲復辟上諭

宣統帝は左の上諭を公布せり（北京特電）

朕幼沖にして大業を繼ぎしが革命の氣起り皇太后は民の塗炭を愍み毅然として政權を民國に讓りしに民國は紛騷熄まず財政紊れ民は生を樂しまず之れ皇太后の意志に非ず朕深く之れを悲み日夜天に祈りて泣けり今張勳、馮國璋、陸榮廷復辟を斷行し人民を救はんことを乞ひ黎元洪亦大政奉還を奏請す朕幼なれども天下の存亡人民の不幸を顧ざるを得ず玆に其の乞を許し宣統九年五月十三日朝に臨み政を聽き大權を統べ民と共に誠意國家を救はん

一、庶政輿論に決し大淸帝國と奠め立憲君主政體となす
二、皇族を政治に參與せしめず
三、皇室費四百萬元は增加を許さず
四、滿漢の區別を全廢す
五、東西各國と正式に調印せる條約及び借款契約は繼續有効とす
六、印紙税を廢し其他苛酷の税金を徵收せず
七、光緒皇帝時代に發布されたる民刑法の外は國情適せざるを以て廢止す
八、總ての政治犯を赦免するも今後世を破るものは之を許さず
九、斷髮と否とは人民の自由とす

朕は以上の箇條を天地神明に誓ふ

議政大臣　張勳副署

▲王侯等續々祝賀參內

前攝政醇親王載灃貝子溥倫貝勒等前淸朝の王侯等百四十名は一日朝宣統帝即位後直ちに宮城に入り宣統帝に賀詞を奉れり（北京電報）

▲斷じて復辟を承認せず

黎總統決心して復辟に反對す

總統府の消息に依れば大總統は愈決心の臍の固め玉璽を引渡して復辟を承認するは斷じて爲さずと稱し部隊に嚴命し禮を以て日本人を遇す可し余は日本人の援助に依り宿志を遂げんとすと云へり（北京特電）

▲黎總統は淸朝より一等侯爵に封ぜられたるが玉璽を引渡し復辟を承認するは死を賭するも斷じて爲さずと（北京電報）

▲黎總統の身邊危し

總統府は一日朝以來混亂を極め黎總統は全く孤立の地位に陷り身邊刻々危險に瀕しつゝあり（北京電報）

▲青木中將歸還せず

黎總統に呼出されたる儘

靑木軍事顧問は一日午前六時黎總統に呼出され歸還せず聞く所に依れば黎總統は復辟に對し消極的に反對なりと（北京特電）

▲支那陸軍部最高顧問靑木宣純中將は一日朝黎總統に呼び出され出頭せし儘今猶歸還せずと噂せらる（北京電報）

○諸法案の運命

東拓改正法案如何

東拓改正法案、製鐵所擴張法案、興業銀行改正法案、輕便鐵道改正法案、恩給法改正法案の各案は今期特別議會に提出され目下審議中なるが始め其の運命危險なりしも其後形勢緩和されたり而かも輕便鐵道買上案及び興業銀行法改正案等は或は握潰しとならんか（東京電報）

○外交調査會

第四回外交調査會は二日午前七時三十分より首相官邸に開催各委員出席重要問題に關し審議したり（東京特電）

○連絡船延著

三日朝釜山入港のさくら丸は途中濃霧の爲め遲延し十一時半入港せるが十時半發の急行は同船を待合せ辛じて乘客小荷物を積み十一時五分發車せり（釜山特電）

○定例長官會議

三日午前九時より山縣政務總監始め各部長官房局課長は定例に依り第一會議室に參集各般の政務に關し審議正午過散會せり

○遞信局の會議

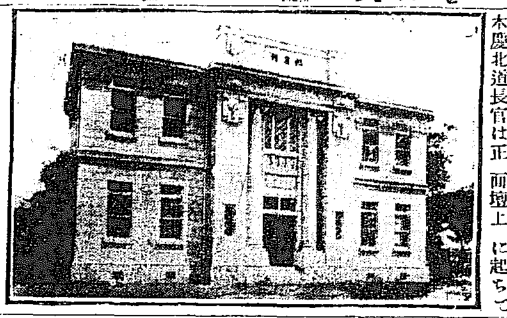
遞信局に於ける主要郵便局長、海事出張所長技師會議は日程により三日も午前八時より開會午後四時散會したるが持地長官以下出席したり

○部長會議要項

本月中旬を以て總督府第二會議室に召集開會せらるゝ各道第一部長會議は主として此程發布せられたる面制の施行準備に關する事項の方法其他施行規則の運用に屬する事項の打合にして各面長等に對する諸般等は其後に於て行はるべしと因みに臨時議會後に於て道長官會議第二部長會議等を開會せらるゝや否やは今日の處尙未定なりと

○賴慶館

竣工式擧行



御大典記念事業として慶北道內に於ける兩班儒生其他鮮人有志の寄附金に依り大邱上町に新築されたる慶尙北道陳列場賴慶館竣工期は七月一日午前十一時より行はれたり此日宇佐美內務部長官を始めとし中山覆審法院長、勝檢事長、金久保旅團長等の外主なる內鮮官民約三百名の參列者あり一同第一振鈴と共に同館樓上に設けられたる式場に著席するや鈴木慶北道長官は正面壇上に起ちて式辭を朗讀し次いで吉松一部長より事務報告ありたる後宇佐美內務部長官は朝鮮總督祝辭を代讀せり而して松本二部長は祝電の披露、竹崎大邱府尹は祝辭を朗讀して最後に發起人總代張吉相氏の挨拶ありて式は全く終りを告ぐ、聽て第二振鈴と共に道廳土木室に設けられたる宴會場に移り鈴木道長官の發聲にて一同天皇陛下の萬歲を三唱す數十の紅裙類りに酒間を斡旋し庭園の其處此處に設備されたる模擬店の雜沓言はんかたなく十二分の歡を盡し午後二時宴は極めて盛況の裡に終了したり（大邱）

○陸軍異動發表期

陸軍省人事課にては昨秋以來殆んど將官將校の陞進異動を爲さゞるが目下其詮考中にて一般の更迭と共に朝鮮駐箚軍司令部各師團其他の將官將校にも陞進移動あるべく來る八月一日頃發表を見るべしと聞く

○釜山港の浮標

朝鮮南岸釜山港鉛島礁附近に左記の浮標を碇置し其の瀨掛燈立標の著色は紅黒橫線に變更したり

▲位置　鉛島礁の東北側 ▲構造及著色　鐵造圓錐形目標圓筒形、黒色 ▲水面上の高　十一呎 ▲水深　大低潮時約四尋二分の一

○李堈公晚餐會

李堈公殿下には三日午後七時より朝鮮ホテルに於て晚餐會を催ほされ山縣政務總監秋山軍司令官立花師團長白水參謀長古海警務部長閔李王職長官國分同次官、遠藤秘書官の諸氏を招待し懇篤の饗應ありたり

○軍司令官檢閱

北朝鮮部隊の巡視

軍司令官秋山大將は北鮮駐屯諸部隊檢閱巡視及び地理實査のため松井少佐千輪大尉大塚大尉高橋大尉伊藤主計有働軍醫及び下士一名を隨へ左記日程にて巡閱す

▲七月九日龍山發元山著 ▲十日午前永興灣要塞司令部衛戍病院分院午後元山守備隊巡察 ▲十一日航海 ▲十二日淸津上陸 ▲十三日午前羅南旅團司令部にて閱兵式午後諸部隊 ▲十四日旅團長統裁羅南諸隊聯合演習閱兵分列 ▲十五日衛戍病院倉庫午後出發淸津著 ▲十六日淸津發會寧著 ▲十七日午前工兵隊午後步兵隊及病院 ▲十八日工兵隊長統裁步工兵聯合演習閱兵分列 ▲十九日輸山洞 ▲二十日慶興守備隊 ▲二十一日雄基 ▲二十二日地境 ▲二十三日梨津 ▲二十四日富居 ▲二十五日淸津 ▲二十六日淸津出發 ▲二十七日元山[illegible]日龍山歸著

○杉檢查官行程

會計檢査院第二課長杉檢査官一行は豫記の如く二日午後九時南大門驛著汽車にて入京し元度支部長官々舍に投じ滯在中なるが三日より十日迄は龍山鐵道局營林廠出張所等の工事を檢査し十一日出發元山に向ひ東北鮮各地の工事を檢査し八月二十二日再び入京二十三日釜山を經て歸東の豫定なるが旅程の梗概左の如し

▲十二日元山土木局出張所檢査 ▲十三十四兩日元山淸津間途中 ▲十五日より二十四日淸津滯在府郵便局出張所元土木局淸津出張所稅關支署營林廠鐵道局出張所各工事檢査 ▲二十五日淸津鏡城間途中 ▲二十六日より三十日鏡城富寧茂山等各警察署郵便局 ▲三十一日八月二日鏡城鐵道工事 ▲六日七日八日[illegible]郵便局慈惠醫院工事檢査 ▲九日より十一日途中 ▲十五日西水羅[illegible] ▲十六日以降[illegible]

○北朝鮮各要港の打擊

日本郵船會社汽船の寄港全廢

日本郵船會社の浦鹽北朝鮮航路は神戶を起點とし門司釜山元山城津淸津を經て浦鹽に至り又同一航路を復航しつゝあり而して最近は立神丸及び和歌浦丸の二隻を以て之れに充當しゐたるが七月上旬より會社に於て船繰の都合上和歌浦丸を他の航路に轉充する事とし北鮮浦鹽航路には

▲立神丸一隻　のみを就航せしむる事に減じたる結果其の寄港地に大整理を加へ元山城津淸津の三港寄港を全廢する事となり乃ち神戶門司釜山を經て浦鹽直行と改むる事となれる意味の電報日本郵船より或る確實筋に入りたり之れ日本郵船としては海運界空前の殷賑を呈し居る際とて比較的貨客の閑散なる北鮮浦鹽航路就航船の一隻を割き他の船腹不足の缺乏を補はんとするにあらんも北鮮方面としては朝鮮郵船會社の門司雄基及び浦鹽航路大阪商船の神戶浦鹽航路と共に日本郵船の神戶北鮮浦鹽線は北鮮並に間島に於ける生產品の內地移出並に雜貨綿絲布其他の輸移入等に頗る必要の大動脈にて其の大動脈が一時に絕滅する事は北鮮財界のために由々しき問題と云ふべくために

▲荷物の滯滯　を來し又乘客より云ふも浦鹽北鮮方面に若くば北鮮浦鹽方面より旅行せんとする者は大型船を失ふ譯にて若干苦痛あるべく尙其の結果大阪商船の阪神北鮮航路のみにては兩地間發著貨物の捌きに滯りを來すは必然にて或は社外船の來航を見るに至るやも圖られざるべく更に運賃の値上は止むを得ざるべし其の他北鮮方面よりは朝鮮郵船會社に對し其の門司雄基航路若くは門司浦鹽航路の阪神延長希望出で來るべし

○遞信傳習生募集

遞信局にては今回電信の修技をなす通信乙種傳習生三十五名を募集する事となり來る八月十四日より遞信局及び平壤釜山元山三郵便局にて採用試驗を施行する由なるが程度は中學二年位にて口述及び筆記の二とし年齡は男子十四歲以上二十歲以下養成期間は約七箇月其間內地人には三十錢鮮人には二十錢の日當を給與する由

○平安丸受取出張

朝鮮郵船より神戶川崎造船所に註文しゐたる汽船平安丸は愈々七月二十日其の引渡しを造船所と會社間に行ふ事となれるを以て其の受取の爲め朝鮮郵船課長永井工學士は一日南大門驛發神戶に赴けり

○甜菜製糖進捗

朝鮮甜菜糖株式會社發起人　岡村左右松氏談

同氏は二日午前九時入港の關釜連絡船新羅丸にて東京より來釜し同十時三十分發列車にて平壤に向へり釜山停車場待合室にて訪問せる記者に語りて曰く

朝鮮甜菜糖株式會社も其後著々事務進行し既に株式募集は終了を告げ第一回株金拂込も內地に於ける分は六月末日迄に全部完了し只臺灣其他に於ける幾分は同日迄に到著し居らざるも近日の內には之れ又た拂込を終ふべし會社設立總會も本月中には開會の筈にて其々準備し居れり工場に就ても會社に於て買收すべく選定せし地所の內東拓會社の所有なる船橋里一番に接續する百六十七町步と附近に散在せる九十餘町步合計二百五十町步は既に買約整ひたるを以て近日より製造工場本社及び社宅等の建築工事に著手し本年中には落成せしむべき計畫なり而して甜菜の植付は來年四月より行ひ明年には製造を爲し得べく豫定成れり自分は此度平壤に赴き其々準備に取掛り設立總會迄には歸京すべき豫定なり（釜山）

○商議候補顏觸

仁川商業會議所にては五日評議員六名補缺選擧を行ふ事となりたるが目下候補者と目さるゝは百三十銀行、末永省三、野口文一、支岐監一等の諸氏及び朝鮮人側兩三名なるが此の外にも前回行はれたる選擧の情氣滿々として市民の商業會議所に對する態度極めて冷淡なりしを慨し立候補を慫慂する者多少ある模樣なれば候補者數補缺數に超過し多少競爭的色彩を帶びたる選擧を見るに至らん（仁川）

○大阪財界近信

▲火保協定料率　多年の懸案たる火災保險協定は昨年末までに內外兩面の大體に於ける協定成り時機待ちの姿なりしが本年一月以來頗る調に在りし斯界も下向きとなり三、四、五の三箇月に亙り各方面に大火續出の結果悲境の極に達し吾社は競爭時に料率の引下を爲す向き多く放任せば遂には收拾すべからざるの極點に達すべきに時恰も多年の懸案たる協定の調談成立せる矢先なりしかば最近委員會社一統東京內外保險組合に會して之が協定を成立せしめたる事は既報の如くなるが之が實施期は八月一日とするも料率の點は未定なり不日之が決定を見るべきも多分普通物件及び工場とも現在料率の倍額即ち前者は最低千分の三若くは四、後者は最低千分の四若くは五倍に決すべきかと

▲近海運賃弱含　門司橫濱石炭運賃十圓五十錢の高値を呈したる近海運賃は時種的關係にして一般標準相場は八圓五十錢なり昨今北海道大連の豆粕の輸送一段落を告げたると且つ季節的關係により石炭需要減少の商狀なると他面一時停滯山積せる北海木材の輸送緩和等の事情に刺戟され昨今稍々傭船料弱含の趨勢を示し居れば此上强材料なき限りは漸次下押を呈するに至るべし

▲石炭積出增加　五月中若松港より阪神行帆船石炭積高は十一萬九千九百四十噸六百九十六艘二十三艘の增加を示せるが仕向地は大阪神戶尼ケ崎吳岡山高砂堺にして重なる取引店は三井二百十四艘四萬一千三百五十四噸三菱百九十四艘四萬一千二百三十一噸を最多として安治川古川住友大阪商船宗像等なりと

▲石炭輸出減少　九州各貿易港に於ける石炭の海外輸出は依然不振にして五月中の合計二十二萬五千八百七十一噸を算するのみ之を昨年の同期に比すれば七萬百四十六噸即ち二割四分の減少なり尙前月に比するも三萬二千五百八十一噸の減少也

▲浦港運賃引上　大阪商船浦鹽航路の浦鹽輸出七尾伏木新潟青森函館小樽揚げ敦賀行貨物運賃は七月一日より引上を實施したるが改訂運賃左の如し
△雜貨五噸六圓（舊五圓五十錢）△鹽生魚五噸六圓（舊五圓五十錢）△豆粕類四圓四十錢 △被棒五圓五十錢

▲帆船需要起る　歐洲戰亂船腹不足を告げ之が補助として帆船の需要增加しチャーター料昂騰前途益々强硬なり（大阪支局）

○天津駐劄我兵入京す

時節柄萬一に備へん爲め

一日朝日本兵八十名天津より北京に來れり之は目下當地駐屯の日本兵全部演習の爲め山海關に出動し居れる爲め時節柄萬一に備ふる爲めなり（北京特電）

○段氏反對運動開始

段祺瑞氏は復辟反對に決し南京に大本營を置き反對運動を開始せりと（北京電報）

人事（仁川）

▲府尹上京　稻野府尹は四日上京、道廳に於て事務打合せをなし同日歸任の筈 ▲慶田氏結婚　慶田利吉氏息男紀氏は今回鄕里上野喜左衛門氏長女きゑ子と婚姻の約整ひたるを以て七日午後六時より八阪樓に於て結婚披露宴を催す可各方面に招待狀を發したり ▲村谷氏湖南線視察　仁川村谷吉藏氏は湖南線視察の爲め一日出張約一週間の豫定なりと

鴨緑江節 筏ローマンス（二）

◇◇瀑布のやうな急流◇◇

◇◇頭から飛沫を浴びて◇◇

鴨緑江上流の森林地帯から新義州迄まで筏を流し出すには大抵二十五日乃至三十日の日子を筏の上に暮さなければならぬ、しかし森林地帯の筏夫は直に新義州まで来るのではない、山奥から乗り出した者は新規坂まで来て其處で待ち受けて居る筏夫に引渡して更に山奥まで戻つて其處から又次の筏を流し出す新規坂から筏を受取つた其處の筏夫は満浦鎮まで流して其處で又交代して歸つて来るこんな風に筏は幾度も人が替つて碧潼、昌城、九龍浦等を経て新義州に著くのである此の内昌城附近からは所謂下流地方に属して川幅廣く水が穏やかに流れてさして危険な事もないが上流地方は

▼或は通じても高潮ばかり

瀑の如な急流 △

▼風に咲で鳴吼ゆる獅の如に泡を吐き、淵に落ちてはエメラルドのやうに澄へ岩間を走つては吹雪のやうに深かい谷間へ真白に落ち込んで行く斯んな處を乗り下だす彼等の苦心は一通りでない彼等は八幡大菩薩を念じながら丸太の水棹を掉つて流の中に亂立する大巌小岩を左右に突いて巧みに此中を流れて下だる

▼飛沫は彼等の頭から掛つて

身躰中濡鼠の △

▼やうに成る斯んな急流を乗り越して緩るやかな流の洋々たる中に筏を乗り入れた時の彼等の得意や又思ふべきである彼等は惜しく棹を操り棹を掉つて岩角の間を潜り抜けて来た怖ろしかつた波路のあとを顧みて『たゞ見れば、何んの苦もない、筏乗り、片手に小手櫂、波の上』後先眺めてよ、櫂を取るよ、チヨツコンまた油断すりあ岩の上』と唄つて居る。事實は其の通りである

▼筏の前に居つて櫂を取る男と

筏の尾の方に △

▼立つて櫂を取る男との呼吸が巧まく合つて居れば筏に寸分の隙もなく手足のやうに急湍を乗切つて流下するが萬一なにかの機端から一寸した油断でもあると筏は忽ち騒然たる響と共に其處にも此處にも亂立する岩へ突當て棒立になる次の瞬間には轟然と崩れ落つるいかに頑丈な筏でもこれには堪らない命の綱の筏の結目はバラ／＼切れて木は激しく其上に越して来る筏に

▼乗つた者は跳ね飛ばされて

岩で頭を摧く △

▼か大きな材木に挟しがれて五體は粉々に潰れて終うか水に陷んで再び浮び出す事が能きないか兎に角筏が毀れたら乗夫が何人居つても助かる者は殆ど稀である、彼等には斯う言ふ急流の危険ばかりではない

夜に成つて筏挟かりをして泊まつて居る間でも後から来た筏の自由を困れる事があると、それが流れて先きに泊つて居た筏に突當る打つけられた筏も打つかつた筏も合つて破壊して終ふ

▼[illegible]

皆な行衛不明 △

▼になつたと[illegible]いくらもある夏に成ると鴨緑江の岸で底を引切りなしに筏夫の屍がコロ／＼流れて居るといふほどでもあるまいと思ふが彼等の仕事の如何に危険であるかと云ふ事がよく分るそれであるから

▼彼等は[illegible]

河童のやうに △

▼[illegible]筏を取るそれでも両岸の[illegible]にそゝり立つた岩山である處にも、恐ろしい晩などは怖々ながらも筏の上に眠らなければならぬ、此外にまだ彼等の恐れて居るのは岩を流し山を崩壊させる恐怖すべき大洪水である

内鮮人の争闘 小倉市外にて

一日午後五時小倉市外上代炭礦夫中日本人二百名鮮人六十名入り亂れて争闘を惹し十餘名の負傷者を出せり（大阪特電）

女學生の同盟休校

既報島根縣濱田高等女學校寄宿生同盟休校を為し生徒中監の紫にて指を切り血判せる者さへありしが職員に慰撫され二日復校せり（大阪特電）

狂者揃ひの一家

▲調子面白う踊出す

咸南咸興郡咸興面事務所在地なる中里に崔泰元と云ふがあり生計も豊かに主人は天道教の信者なるが如何にせしものか數日前より一家揃つて氣が變になり家族の男女相擁して泣き笑ひ躍り騒ぎ荒れ狂ふ様悲惨の状に覺わず鬼氣神に迫るの感あり心なき者の同家に集まり来たれば傳染の豫防なりとて着物に火を付けて焼き食器に飯を盛りたるまゝ破壊し或時に群集を追つ拂ふなりとて小石を投じ一人がグラ／＼笑ひ出せば皆思ひ出した様に笑ひ出し一人が躍り出せば皆立ち上りて調子も面白く躍り出すと云ふ始末なりと狂か猜狂か兎に角不思議な狂者もあればある者なり（咸興）

十個村害蟲に埋めらる 山陰道より山陽道 ‖未曾有の惨状

島根縣那賀郡には害蟲の發生甚だしく其の被害數萬町歩に達し中國山脈を越えて廣島縣に迄及ぼし中には長安村外十箇村の農家は屋根、壁、共害蟲にて埋められ農民の不安其の極に達し小學校の校庭は毛蟲充満し臨時休學の已む無きに至れり、害蟲の發生にてかゝる惨状を呈せるは全國未曾有の事なり（大阪特電）

雨に籠る 宿屋の力士 伊勢の濱は書見 太刀山は晝寢の夢

三日千秋楽の日は雨ながらも午前中は降らなかつたのに生憎にも正午過ぎから小降りを始めて終ふやうな土砂降りに勧進元も遂に入掛を決すると皮肉にも間も無く一天ガラリと霽れて人を馬鹿にしたやうな

◆陽光が 雲を破つて現はる間の悪さ、せめては三日は興行場さ宿てにしたのが之れも外れて朝からの雨模様、勧進元の迷惑も察するに餘りあるが、力士も二日續きの休みに弛んだ筋肉を引張りながら出るにも出られぬ

◆退屈さ に弱りぬいてゐる、その退屈振りを見るべく關取格の最も多く泊つてゐる清光館へ行くと土州山や若島は何處へ行つたか姿も見せず、紅葉川の部屋には初ツ切でお馴染の小嵐やその他の弟子連中が折柄部屋に入つて来た朝鮮人の太物

◆行商人 を捉まへて袴に高い廉いと爭つてゐる、反物寶の懸値が、餘りに烈しいので一同が手を引いて終ふと紅葉川關は椽先きへ出て雜誌を讀み始めた、その傍では小嵐が、相手を見つけ出して碁を始めてゐる

◆庭越し の伊勢の濱の部屋から龍ケ瀧らしい聲で『紅葉川關の國の方は雨が降て大變だつたさうだ』と言ふと『それでは手紙でも出さなければなるまい』といふ謹嚴な伊勢の濱は相變らず

◆部屋に 閉籠つて肌も脱がずに新聞や雜誌を讀み耽つてゐたが遊惰と見ねて女中が膳を運んで来たので隣室の紅葉川を招んで龍ケ瀧と三人で樂しさうに食事の箸を執り始めた、各部屋でも

◆取的連 中が碁を圍んだり將棋を差したり腕角力をしたり手紙を書いたり土俵に見るとは打て變つた靜かな容子が雨の日力士生活の寂しさを思はせた、巴城館に太刀山を訪ねると、まだ臥床中だといふ

◆太刀山 ▲附の何處か宇都宮に似たところのある太刀ケ峰と鞍ケ嶽と昨日太刀山を訪ねて來て新弟子になつたといふ朝鮮人の

◆三人が 挾い部屋に所在無ささうに坐つてゐる、敷島は最負客と甍飯を喰ひに行つて之も留守である、

雨に惱む力士達（三日午後高光館にて）

豪遊客は曲者

栃木縣安蘇郡赤見村生れ龍山元町三丁目小川きみ方同居小川藤吉（三一）は前後三回入獄したる曲者なるに六月十六日彌生遊廓にて無錢遊興をなし憲兵隊にて一應取調べを受け放還されたるに同十八日より京城新町日曜樓に登樓し二十日迄流連して豪遊を極め其の間黄金町の寫眞屋を呼び女等を加へて二十圓の寫眞を撮影しながら代償の支拂ひ出來ざるより北米倉町の樋下田某方の若者なりと氏名を詐稱し寫眞は同家に持參すべしと逃れ其代金を支拂はず倡妓仲居等に興へんが爲め龍山元町四丁目富井呉服店に電話にて反物數反を注文したるも之に應ぜざりしかば彼の害なかりしが其の結果遊興費六十六圓に達したるも無一文のことゝて遂に告訴せられ藤吉は本町署に引致取調べの上檢事局へ送らる

遊廓者の店荒し

福岡縣筑紫郡二日市町生れ龍山彌生遊廓松永まさ方同居前科三犯齋藤武策（二八）は六月廿二日午後十時頃京城本町二丁目川合次太郎方にて金側懐中時計一個（四十二圓）金指輪一個（八十二圓）を買受くべしと稱し其の保険書を作製せしめる際家人の隙を覗ひ携へ来れる紙に小石を包みたるものと置き換へ件の時計と指輪とを窃取逃走したるも此程本町警察署の手に逮捕され取調べの上檢事局へ送らる

巨濟丸坐洲す

釜山を出發せし麗水港通ひの汽船巨濟丸は三日正午過ぎ濃霧の爲め進路を過り三千浦東陸地に坐洲したり乗客貨物總て無事なり午後四時頃離陸の見込（三千浦特電）

血を見るまで 淪落女の末路

◇◇◇處女時代の夢です◇◇◇

回 私が二度目にいさ子に會つたのは何んでも湖南線が開通してから後の事である、それは彼女が贔負にして居た旅藝人を、何かの機會に私が救つてやつた爲め、わざ／＼禮に來たのである、私はその女がいさ子の一六だ、といふ事はもう忘れて居たが、段々話してゐる中に『雷鳥を語る女』文藝に趣味を持つ女」といふ古い印象を思ひ出した、その時、改めて對者の顔を注視すると、昔の初々しいところは微塵もなく、徒らに荒んだ皮膚の色が淺猿しいほど目についた。

回 その後二三箇月も經つて彼女から突然手紙が來た。『荒み切つた妾の心はたゞ強い強い刺戟のみを求めて居ます、希望、抱負──そんなものは純潔だつた處女時代の夢です、從つて今の境遇を悲しいとも思はなければ情けないとも思ひません、たゞ、刹那々々の刺戟に生きて行くばかりです……』こんな感傷的な文字を並べた末、大分借金が嵩んで苦しいから鞍替しやうと思つてゐる、けれども少々の前借では迚もこれだけの借金の穴を埋める譯に行かぬ、己むを得ぬから自由廢業をしやうと思ふが、是に對する貴君の御意見は……と云ふ大變な相談である。

回 餘り事が突飛なので、全然相手にならずにゐると其後暫くして今度は端書が舞込んだ──『愈々淪落のドン底へお笑ひ下さるまじく候』とばかり外には何にも記してなかつたが、これが京城新町の日曜樓とやらへ鞍替すべく、出發の際出したのだといふ事は後で知られた（つゞく）

讀者文藝（一等に五十錢分を呈す）

△謎『旱魃とかけて』

盲人同志の衝突と解く

心は水（見ず）喧嘩をする（一等） 黄海道碧潼 門脇 紫浪

▲乳呑兒の欲しがりと解く 心は飴を喜ぶ（雨を喜ぶ）

▲盲目者の嘆息と解く 心は眼目が欲しい（雨が欲しい） 京城 艶翠亭

▲射的の探點者と解く 心はふるのみ待つてる 龍山 多美郎

仁川の大相撲

太刀山一行は京城打上げ次第仁川へ乗込み太刀山友綱矢筈山は朝日屋へ黒瀬川、敷島は花屋へ伊勢濱、土州山、紅葉川、若島は原金へ其他各指定の旅舘に乗込む筈雨天の爲初日決定せざるも人氣は一般に引立ち團體見物としては商業専修其他二三あり日本麥酒會社の應援もあり旁々盛況を極む可し（仁川）

忠南錦江增水

忠南錦江は去る二十七日夜來の降雨にて二十九日午前九時頃には公州に於て一丈七尺八寸增水し錦江橋は板を取外され對岸との交通は渡船に依りて連絡し居れるが漸次減水の模様なりと

取消

拜啓貴紙益々御清祥奉慶賀候扨而大正六年七月二日夕刊二面中の『巡査派出所前の路上にて』云々の記事中有延和太郎が弊店職工の如く記載有之候へ共右は大正六年七月一日既に解雇せしものにて弊店は同人とは何等關係無之に付右御取消相成度願上候也 大正六年七月二日 中島印刷所

●公金横領 原籍慶南晉州郡奈洞面前川里金東仁（二）は去月二十日[illegible]を為さんとする薄給の身にて致方なかりしかば茲に悪心を起し自己取扱の[illegible]於て勝手放発となりたる者にて其後も數回の小泥棒を働きたる事發覺し[illegible]て檢擧され取調中なるが同人は[illegible]

前三時三十分入港高麗丸一二等客（一等）三名[illegible]米國人ハツト[illegible]

子、向の[illegible]山田[illegible]次郎、志賀[illegible]

▲課題募集規定 [illegible]

▲募集規程 同形の洋紙一枚毎に[illegible]住所氏名[illegible]

天氣 あめ（三日午後六時發）

商況

東京公債直取引（特電）

五分利特別	九五、二〇
五分利甲號	[illegible]
一回四分利	[illegible]
二回四分利	[illegible]
甲五分	九五、一〇

深川在米特電

三日現在高	
朝鮮米	七六、一〇六
臺灣米	三二、〇四〇
内地米	一七二、二三〇

東京期米特電

	八月限
三日前場 寄付	二三、一六九
高値	二三、四、六一
安値	二三、八〇
止め	[illegible]

大阪期米特電

三日前場 寄付	二二、〇三
高値	二二、九〇
中限	二二、三九
先限	二二、九〇
六節	八〇
五節	二二、三七 / 二二、二〇 / 二二、九九

下關期米特電

	當限	中限	先限
三日前場 寄付	二三、〇三	二三、二九	二三、六〇
高値	二三、五四	二三、五四	二三、六六
安値	[illegible]	二三、二九	二三、六二
止め	[illegible]	二三、五四	二三、六〇

雜報

●露貨復下落 三日鮮銀入電 露貨は同行買入相場に二百三十五留同二日長濱にて二百二十六留に暴落す

●綿糸賣止め 昨今の内地綿糸界は實に灼熱的にして相場は急騰の勢ひを以つて高進を續け新東の三品市場は前場當限三百八圓と八月限三百九圓其他各期を通じて三百圓臺に上りしが後場に至りて人氣更に沸騰し當限三百十九圓八十錢八限の三百二十圓

臺を報じて前場より更に十圓以上の高値を現出し現物又角七十六手 双女十手三百八十圓 五圓の入電にて此三百十圓

[illegible]の硬派の跳躍益々甚しからん向あると共に此上尚那邊迄相場の急騰を續くるや殆ど豫測し得可からざる事となり市場は判斷に窮し居れり

●不穩と混亂と危險 [illegible]粗布十圓方引上 同時に綿糸は全然賣止め發表 [illegible]

●木材は閑散 雨期に入りて以來木材は需用少く市況大抵保合へるも外之が供給狀態を觀るに鴨綠江は減水のため依然流筏少く製材出廻り遅れむ傾あれば此雨中には可成の增大を見るべく後市に引締るは[illegible]

●内地需用盛んにして買付に銀高と支那先づ安東縣側は[illegible]

●鮮肉は仕向 [illegible]

●北海產 [illegible]

●清酒値上げ 昨今上好景氣に伴ふ清酒の需要は近來著しく増加を示し灘酒の如きは大正五年度に於て査定石數四十九萬何千石に達して記錄を破れり

●水飴は手堅し [illegible]約六七十錢

●方の騰貴 [illegible]

●鑛力板引戻す [illegible]大阪相場三圓の方引戻す

●平板跳返す [illegible]十錢方跳返す

●小賣値 [illegible]

●値上後の建値 [illegible]依然現狀を維持す

●價暴騰の折柄 費用高い米 至二十五圓方騰貴 一圓半樽五十錢上げ 來る十日より大樽一

㊓利 森仲買店 仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 電話店用 本宅電話

釜山穀物市況

高米	七三個	二〇〇〇
中白米	一〇六九	[illegible]
玄米	六五、四八二	[illegible]
右の内日本國		
精上白米	二	一三〇
同中白米	三	二〇〇
同玄米	二〇	一九三五
大麥	五	六二〇
小麥	三六三	一九〇〇
小豆	七八	[illegible]
大豆	一五六一	[illegible]
裸麥	六〇	一〇五〇

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物（二日）

[illegible]

仁川期米

▲三日前場（強硬）大阪天候晴天 昨止より二十錢安の入電に寄付五錢と十一錢安に大阪四節五十六錢と高移り先二十三圓九十九錢と大爆發新高値の入電に人氣沸騰一躍七十八錢上伸し六節八十錢と安移り六十七錢と押し

市場零聞

▲俄然反撥す [illegible]

仁川米豆取引所

三日の九月限

寄付	十九圓四十五錢
高値	十九圓七十三錢
安値	十九圓四十八錢
止め	十九圓五十三錢
出來	[illegible]

一節	十九圓五十三錢	
二節	十九圓七十八錢	
三節	十九圓七十二錢	
四節	十九圓七十一錢	
五節	十九圓七十二錢	

賣買取組高

七月限	三千二百五十石	一一九北較
八月限	四萬二千五百石	一一七高
九月限	六千五百石	一一九安
後場		

大阪新高値

▲大阪の成行は[illegible]上に一賣物合に依つて阻止せんとするも人爲を以て能く賣り壓へるは非

▲果然昂騰す [illegible]事情は其當時と全然趣を異にし[illegible]時期は不知

●不識の裡に經過[illegible]尚先の高値を抜く事能はず十九圓臺に頭重き成行[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全 高田仲買店 仁川海岸町三丁目 ●定期米賣買案内 ●前金御注文は紹介不要候 電話長一〇〇 電話長一一九

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 電話

行使横領罪として起訴せられたるが全秉仁は本年四月迄本道固城郡廳に勤務中大正四年頃より實家の貧困に陷りたるをいたく氣遣ひ之れが救助
九十三圓十五錢を官文書僞造の上横領したるものなりと

●不良少年　鎭南浦新興里邊得俊(一三)は夙に竊盜罪に依り鎭南浦署に[illegible]責任年齡に達せざる爲め處罰せられざるを好き事と爲し居る不良少年にて警官も持て餘し居れりと

●連絡船上陸客　七月二日午前九時入港新羅丸一二等客
一等(二名)岡村左右松、米國人エルダー
二等(四十一名)永田桂三、増田ひで、菊池とし[illegible]木盛三郎、楊井年作、大坂秋次郎、高島秀吉[illegible]杉浦信作、同はじめ、大杉經三
三等(百六十六名)

●肥前艦上李王殿下御覽の擊劍試合
□□□□同艦軍醫長内田耕平少監撮影□□□□

◎三味線
世界の樂器の最も進歩したもの
某撿校連絡船中談

音樂と云ふものは古來の所謂六藝の第二位に數へられてあるに見ても人間としては必須缺く可きものであることは申迄もない、殊に至りては[illegible]も音樂の趣味を解し、天神地祇も音樂の妙に感應ましまし功徳忽ちに雨を降し賜ひし昔の例迄ある、しからず、人間は誰よりのこと古今東西都鄙貴賤老若男女の別なく即ち南洋の人喰人種より西歐文明に誇る人々も苟くも人間の生存せる處には音樂舞踏の備はらざるなく其趣味を解せざるものなきに見ても音樂は人生の特質たることは明白であるが其音樂に就きては

●氣候地質の關係　あり生活の狀態に因りて多少其歌唱音譜に因りて樂器を異にして居るのは當然であるが其種類は今幾何かに數ふることは容易のことでない、依りて茲に日本の樂器に就いて話をするにしても笙、篳篥、太鼓、鼓、琴、三味線、橫笛、尺八、胡弓、鉦、琵琶、其他支那の樂器、近頃はオルガン、ピヤノ、バイオリン等の西洋樂器も決して少い數でない、此等多數の樂器は皆な夫れ〴〵特種の妙を備へて妙手の手に委せば鬼神も爲に泣すべく雁落も山に隱れ秋風も松に避け飛禽も暫し落下を停むべしと雖も斯くも多數の樂器に對し其の長短を語ることは到底出來ぬことであるから茲には左樣な面倒は御免を蒙り只近來一般の家庭に於て娛樂の嗜みとして發達しつゝある

●琴と三味線に就いて　ザッと話をすることゝ致さう、大體琴の音律は單調であつて獨彈を以てせば餘韻悲悽に非らずんば戀情に沈む嫋々とでも云ふべき斷腸の聲を作すものである古來貴人の間に持て囃されたる理由は深窓の下に戀慕を行ふに最も適當したる樂器たるを以てゞあることは云ふ迄もなく琴の曲譜は總て此域を脫して居ないのである只無意味に唄ひ合しつゝ

●小娘には何日と　なしに餘韻が感應して琴の松風通ふらじいづれの世より調べ初むることになるのである斯く云ば琴の稽古を小娘に强るは父母よりして劣情を煽るに均しきが如くなれども人間も又た動物性を脫せざる限りは本能に向ふて進まざるを得ざるは當然の徑路である上は決して拒むことは出來ない次第で別に怪しむに足らぬが只だ

●無意識に之れを教　ふるものゝ亦た之を習ふものに對して結局何等の意味を有せぬのである、三味線に至りては琴の陰に對する陽である三味線に上ぼすべき音譜は抑々の最初は今日の如く亂調でなかつたもので僅か三絃に過ぎざるも七十八音を出し得て今日世界の樂器中最も進歩したるものであるが初めて我邦に南洋より渡來したる當時に比して實に驚くべき進化を來したるに拘はらず

●古人は蕃器として　卑めたる爲め貴人の手に觸るゝことの少なきと一は陽音は戀情を惹くに適せざるとに基因したと云ふことであるが之れも全く空想であるまいと考へらる左り乍ら今日有らゆる樂器の中に在りて最も進歩したる三味線の眞價を發揮することの昔ねからざる原因は數々あるべけれども餘り音律の巧妙なる爲め遂に如何なる音譜にも應用し易く其結果

●卑猥の俗歌に弄　ばるゝことが大なる理由なりと思はる然し琴を習得せんとするものは是非其最初に三味線の一通りを習はしむることが必要である其理由は琴の單調なるに三味線は多調であるのみならず樂譜を明瞭に曲に合することの容易なる爲め三味線に由りて習得したる曲譜を琴に適用するときは甚だ容易に理解し得ることゝである

●世の父母は此理　を解せずして最初より單に琴而已を習得せしめんとする爲め習ふものに苦難を與ふるのみにて其進歩の遲々たるに寧ろ之れを習はしむるものゝ亦た敎ゆるもの恐るゝ所以であるまいかと思ふ、洋樂の如きは未だ趣味を解せざる者の彼是れ云ひ得ることではない世人多くは音樂を以て道樂の一と解して居るらしいが之れは甚しき間違ひで音樂趣味ある人は

●其品格も亦高尚　にして軍樂の士氣を鼓舞し、雅樂の禮を誘ずるの、神樂に敬虔の念を起さしむる、歌舞音曲の功古今敢て違ふ所なし六法の二位を占むる素より當然のことゝ思はる(完)

◆傳燈寺詣で

俗惡な感嘆詞‖蓋無しの光景‖大茶目小茶目‖物質文明の中毒‖假睡中の惡戲‖無智の人間の手‖如來よりも黄金の光

到潮樓に登つて[illegible]の滴を眺めると頭の上を環る簷は夏の日に反射して銀色の帶を綴さなく引いて居る樣である脚下の谿間は相重つて深淼は野に山に涼々の氣を孕んでゐる

◆大風光に接し◆　た場合詩藻豐かな兩班文士が案を叩いて嘆賞するのならば古色掬す可く、詩趣津々たる者があるが、何か扨下界の俗物の悄けなさには『チョッター』とか『ヨカ〳〵』とかより外に讚美も感嘆詞も、口から出て來ぬから情ない一詩なかる可らざる處を早速携へ來つた辨當を披いてパクツキ出せば酒躍山門に入るを容さとる仙境も瞬く間に

◆狼藉の極を盡◆　して折角が散亂する、氣焔が出る酒肴が出る　イヤハヤ到潮樓も靈なしの光景を演出して了つた、辨當を終れば放たれた羊の群の如く山中に分け入る者あり考古學者の如く殿宇を鑑賞する者あり、對景樓で帶を解いて淸風に臨む者あり、チバカで水を掬ひ襟を披て涼をに涵ふ者あり更に今日丈けは一切の虛僞や

◆儀禮や階級や◆　威嚴や拘束の鎖から放たれた敎育家諸君が自由と放奔の半日を消化せんとするのであるから山內は恰も緣日の如き光景を呈して綠陰に假睡む猿や雉子や近郷近在の土民を驚かせし事幾何ぞ！校長と僕等とは物質文明の中毒とか言ふ奴に惱まされて、僅々一里有餘の步行に早くも精力を放散して了つたので、休息と安眠とに依つて生命力の補給をせねばならなかつた

◆對景樓內木枕◆　を借りて橫はれば、極度の疲勞と睡眠慾の爲めに蕪雜の如き神經も麻痺して、瞬く間に洗ふが如き淸爽の氣に誘はれつゝ他愛も無く華胥の世界に遊ぶ少時して何かの物音にフト眼醒れば山僧將りに顏を眺めて笑つてゐるハテ騒がしいと眼を擦り乍ら起き上れば可笑しも道理誰れの惡戲にや引導を渡すと書いた紙片が腹の上にのつかつてゐた、此處で極樂往生しては浮ぶ瀬もあらうが現世に浮ばれぬ者も殘つてゐるから氣まづい念ひと共に

◆滑稽こを歴讀◆　した樣な寂寞、自尊心を傷き乍ら山僧嗤笑の中を退却したそして充血した眼を擦り、本堂や其他山內の建物を見て步く、抑も傳燈寺は四千二百前後の年檀君三子をして山上に城を築かしめて以來三郎城を以て歴史家の間に喧傳され後世高麗忠烈王の時僧侶なる者宋に行き大藏經及び玉燈を齎らして還り此寺に收め玉燈を傳へしかば

◆傳燈寺と稱す◆　とあるが、尊き者の總ては無智の人間の手に擾られて如來樣より黄金が光り輝く今日では、寺燈は硝子張りのランプで代用し、坊主は大藏經を賣つて喰ふ澆季の世の中となつたので、何處を探ねてもクラシカルの香ひなんか嗅ぎ出されもせぬ(續く)(仁川　磐溪生)

◎雨を待つ滿洲
顏洗ふ水も容易に得難い

この頃滿洲は煮ね返るやうな炎天が續く、雨は少しも降りさうな氣色がない、二十七日來渤海方面と、朝鮮の北部と、長春の北東の三方面に、微弱な低氣壓が停滯してゐたので慈雨が少しでも注ぐだらうと樂しんだ甲斐もなく

◆長春の北東　にあつたのは消滅し、朝鮮北部にあつたのは二十八日夜から黄海方面に移動し、僅かに朝鮮の北部にあつた低氣壓が稍北東に動いて停滯してゐる計りだ。二十九日朝北風がそよ〳〵吹いて近來にない涼しさを覺ねたのは渤海方面にあつた低氣壓が黄海方面に移動した結果で黄海沿岸はそれが爲め非常な濃霧ださうな。强烈な低氣壓でも突如現はれたら、雨が降るであらうが二十九日朝の狀況では當分

◆快晴が續く　ものと思つて差支へがない、何日になつたら雨が降る事か、沿線は知らず大連は斷水續きで、顏洗ふ水も容易に得難い家が多い、茲十日降らなかつたら、それこそ一大事である。併し滿洲の雨季にも近づいたので、その中には心ゆく計り雨の音を聞く事が出來やう、去る明治三十八年から大正五年迄十二年間の平均を取ると

◆雨季の入り　は七月六日で終りが八月十七日になる。尤も早い年は七月の聲が掛らぬ中から降つてゐる事もあつた。早い年は大正二年及び三年で雨季に這入つたのが六月二十二日遲い年は明治四十四年で八月三十一日から雨季に這入つた併し所謂

◆滿洲の雨季　の期間は平均四十三日間で、其の中雨の降る日數は二十四日間、其の雨量總計二百七十四粍で、是を一坪に幾升に當るかと計算して見ると五石二升降る割合になる雨量の最も少なかつた年は明治四十三年で、雨季と稱すべき期間が無かつたと云つて好い位、强ひて云へば八月六日から同じく二十日迄十九日間で、其の間雨の降つた日は十四日間で

◆雨量僅かに　五十七粍に過ぎなかつた。一坪一石四升の割だ多かつた年は大正三年で六月二十二日から雨季に入り九月十日迄の八十一日間に、五十五日間降り續けたその雨量七百九粍で、一坪に割ると十三石の割合降つてゐる。其の他の年は多いと尠いとの中間にあつて二百粍乃至三百粍降雨があるのが普通である雨を待ち詑びてゐる

◆滿洲の人々　も雨季に入つて幸ひに雨量が多かつたらホッと一息つけやうが萬一明治四十三年のやうに雨季になつても雨季らしく無く雨量が尠かつたら眉間の愁雨徒らに深くなる計りだ。空の曇りを見て悅び蒼穹を仰いで嘆くなどゝは何たる慘事であらう(大連)

渚の砂

■剌交へ情死　名古屋市熱田旗屋町高田治一(二〇)は同町江口きみ(一九)と親しい仲になつたが雙方の親が承知せぬので家を逃出し先月二十六日夜京都府紀伊郡竹田村の奈良線鐵道工事小屋の軒下で兵兒帶で二人の身體を縛り合はせ互に短刀を以て咽喉を剌交へて情死を圖つたが行く行かなかつた

■巡査上りの賊　長野縣生れ岐阜市臨見町府付高利貸元岐阜縣巡査小平作次郎(四八)は本職中婦女を辱めて免職となり其後泥棒と變じて廿數個所から貴金屬類を山の如く窃んで妻きみ(四〇)淺野もと(二八)を蓄へて華奢の生活をなし料理屋から二千圓も掛けた所が分り拘引された

■母子の投身　兵庫縣美嚢郡三木町殷治郎大西庄兵衞妻なみ(二五)は夫の實弟吉藏(二五)が放蕩するを苦にし先月二十四日夜長女さかゑ(二つ)を背負ふた儘村の溜池に投身自殺を遂げた

■死から猪鬪　千葉縣安房郡十尾村治水夫淺沼長藏妻しげ(三〇)は良識が放蕩の末他の女と關係したので二人の幼兒を連れ投海で親子三人自殺を企てたが又思ひ直して死を思ひ止り子供を負ひ自分は海岸に立つて大に働く決心となつたさうな

■新聞記者自殺　別府から大阪に航行中の汽船別府丸から投身すべく深山の造酒を發見されて自殺を果さず二十八日神戶水上署で保護を受けたのは自稱大分日日新聞主幹大分縣大分郡三川庄內村生れの生野義雄(三四)と曾ふ喘息病人

■兵士に毛虫　步兵第五十八聯隊の兵士が演習の爲め新潟縣關山演習地に露營中此程百五十餘名が一夜に毒毛虫に刺された

■井戶から石油　兵庫縣多紀郡篠山二階町雜貨商島三原春吉方の裏の井戶から六月二十六日泡が立ち石油が噴出したので大騷ぎとなつたが附近三戶の者は是迄此の水を飲んでゐたのだと

▲〆切『[illegible]』　同　五日　同　六日
▲俗謠『浴』　同　六日　同　七日
▲川柳『豹』　同　七日　同　八日
▲物は付『盛たるものは』　同　八日　同　九日
▲都々逸『水車と掛けて』　同　九日　同　十日

發表後一週間以內に到着又は[illegible]通告者には五十錢書籍券を呈す(但[illegible])●何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

◎一代に百萬の富を作る決して難事に非ず
予が現に實行しつゝある利殖法
何人にも容易に實行し得る方法

株式會社富强世界社專務取締役　大迫利亮

▼金は誰にも出來る
世の多くの人は金は出來ないものであると思つて居る、一代にして巨萬の富を蓄積すると云ふが如きは、明治維新の時のやうな世の中の秩序がキチンとして居ない時の事であつて今日のやうに社會の組織が萬事組織立つて仕舞つては、無一文から俄かに成金となるやうな事は到底出來得るものではない、況んや一代にして一百萬圓の富が得られるとか云ふやうな事は全く空想である、空理空論であると一笑に附する人が多いであらう、併し、金は作らうと思へば必らず出來るのである。一代に一百萬圓の富を得ることも決して難事でない、疑ふ人は來つて先づ予が如何なる利殖法を實行しつゝあるかを調べて貰ひたい。

▼成功致富の實例多し
昨年十月、時事新報の調査掲載したる五十萬圓以上の全國資產家表を見るに、現在我が帝國に於ける五十萬圓以上の資產家は合計二千二百〇一人であつて、之れを前回の調査即ち明治四十四年七月の調査に比較するに、其の數に於て實に一千百七十六人を增して居る、ツマリ此の五年間に於て五十萬圓以上の資產家が一千百餘人增加したのである、其れ丈けの人が金儲けをしたのである、而して此の事實は取りも直さず、社會の秩序が整然とした現代であつても、尚且つ金は出來るものであると云ふことを證明して居るのである

▼金の出來ぬ理由なし
然るに金が出來ないと云ふのはツマリ苦心が足りないのである、信念が無いのである、予は此の點に關して多年苦心の結果、先づ富を作らんと欲するものゝ第一條件が金利の觀念を旺盛にするに在ることを感じ、日夜專念、約十年の長きに亘る研究に沒し、自ら又、自己獎勵の利殖法を實行して、一かどの富を作り、又更に之れを關係の會社商店に應用して頗る好なる實績を擧ぐるに至つて、金利の實に侮る可らざる事を發見したのである

▼天下の富豪金利を恐る
三井、三菱、住友の如き大富豪であつても茲に假りに、僅かに一萬圓の借金があつて、其の借金に年二割の利子が積つて行つたと假定すると、其の借金は五十一年目に驚く勿れ、實に一億一千萬圓の巨額に上つて、三井、三菱の富を以てしても尚且つ破產の運命に陷らねばならぬのである、故に之れと反對に見て茲に一萬圓の財產を有するものが、其の金を年二割に廻はしたとすると、其の人は五十一年の後には三井、岩崎を凌駕して一億一千萬圓の大資產家となる事が出來るのである、併し、今是に無資產の人には此の論法では適用しない、即ち茲に先づ資金百圓の利殖法を說明して更に然る後に、其の資金の百圓を作る方法を論じ、無一文の裸一貫から巨萬の富を作り出す實行方法を述べる事としよう。

▼百圓の資本で百萬圓
茲に一百圓の資金を持つて居る人があつて、其の人が其の一百圓を年二割の金利に廻はしたと假定すると一百圓の元金は五十一年目には元利合計金一百拾萬圓となるのである、又一百圓の元金を年三割に廻せば卅六年目に一百二十六萬圓となり年四割に廻せば二十八年目に一百二十三萬圓となるのであるから、若しも百圓の金を以上の金利に廻すことが不可能でないとすると一百圓の資金を有して居る人は誰しも一代に一百萬圓の資產家たり得ると云ふ事になる、唯問題は果して二割三割乃至四割の金利に其の金を廻し得るか、否かにあるが予は必らず以上の金利に廻し得るものと信じ、且つ之れを實行しつゝある一人であるから、之れより順次、自己の實驗に基く金利運用法を說く事としよう。

▼一日五厘儲ければ宜し
一百萬圓と云へば大金であるが、所謂、塵積つて山となるの道理に洩れず、一百萬圓の富を得んとするには先づ細かい勘定から出發せねばならない、此の僅かな金利の運用法が吞み込めた人丈けが巨萬の富を作り得るのであつて、此の理窟、此の計算の分らぬ人には到底金は出來ないのである、即ち其利殖運用法の一端を茲に公けにするが、十圓の資本で一日五厘五毛宛儲けて行けば、一百圓の元金は五十一年目に一百十萬圓となるのである、十圓の元金で毎日八厘二毛宛儲けて行けば一百圓の元金は三十六年目に一百二十六萬圓となるのである、十圓の元金で毎日一錢一厘宛儲けて行けば一百圓の元金は二十八年目に一百二十三萬圓となるのである、十圓の元金で日に一錢三厘七毛宛儲けて行けば一百圓の元金は二十三年目に一百十二萬圓となるのである、何と恐るべき事ではあるまいか。

▼決して實行難に非ず
予の實際に調査せる所に依ると、世人は生活の爲めには常に對資本利廻り十割以上の儲けをなして居るの實例に乏しくない、例へば茲に百圓位の資本を以て一つの營業を行ひ、其の營業に依つて一家四五人の家族が生活して行くと云ふやうな實例はいくらもある、其處で其の家族が生活するには、どんな倹約をしても一ヶ月十圓內外の金が必要である、して見ると一ヶ年百圓以上の利益であつて即ち其の資本利廻りは年十割以上である、故に、人は生活に追はるゝが如き眞面目な只て、金利の運用法を考へるならば其の利殖は決して困難でないのである。

▼貧乏人益々奮起す
然るに、世の多くの人が、一代に富を作るの望みなし、と悲觀して遂に自暴自棄に陷るが如きは誠に歎ずべき次第である、予は多年此の利殖法を研究し、且つ實行し來つたのであるが、之れを公にするを欲せず、親戚知己の間にのみ說き、稀れには失意の境遇に陷りて助力を乞ふものに說き來つたのに過ぎない、併し、予の此の計算法に勇氣を得て俄かに發奮努力するに至つた人も尠くなく、昨日、失望に泣きたる青年も今日は光明あり希望に滿されたる生活に蘇生するやうな實例も尠くなかつたので、茲に予が年來苦心せる利殖法を公開するに至つた次第である。

▼貯蓄投資講義錄の發行
今や、我が帝國は歐洲戰役の各列强と伍して如何なる政策を樹立し、其の國是を如何にす可きかに就て、最も愼重に考へねばならぬ時機に到達して來た、併し、其の國是と稱し立國策と云ふも要するに、先づ金を作ると云ふ點に歸着すると思ふ、金が無くては國も强くはならない、即ち予は茲に深く決する所あり今回本社內に『貯蓄投資研究會』なるものを設け『貯蓄投資講義錄』を發行し、人々をして貯蓄の實行をなさしむるのみならず、更に其の貯蓄したる資金を最も確實に、有利に運用利殖して先づ人々をして五萬圓なり、十萬圓なりの基礎的財產を作らしめ、更に進では一百萬圓の富を成さしめんと努力する次第である

▼空論に非ず實際的
既に、金をためさせる爲めの講義錄であるが故に、勿論、空想めいた言葉は一字もない、講義は極めて平易で誰にでも讀め、且つ一々實際の生活に充てはまるやうに出來て居る故如何なる職業の人でも本講義錄を讀めば直ちに實行が出來るやうになつて居る、貯金のないものが之れを讀めば直ちに貯金が出來る、今迄、銀行や郵便局に安い利息で預金をして居た人は直ちに其の利殖法を覺えて二割乃至五割と云ふ高利に廻すことが出來るやうになる、而して安全に確實に成功することが出來ると云ふ、恰も盲目を手引するやうに一々懇切に指導してあるのが本講義錄の特色である

▼會員には永久指導
單に講義錄が懇切に金儲けの道案內をする許りではない、一たび本會へ入會した人は社友として永久に本會との關係を持續し、本會に於て永久に成功致富の目的を達する迄、指導の任に當り、此の手で金が儲からなかつたら斯うする、それでも成功しなかつた際には斯く〳〵と一々實際問題を捕へて其の指導を爲し、永く諸君が最良の顧問たらんと期する次第である。

▼本社の確實なる事
本社は資本金二十萬圓拂込濟の株式會社である、而して本社の顧問として現に其の經營に參與して居る高柳淳之助氏は無一文から最近十年間に四十萬圓の富を作つた人である、其他、本社の重役は何れも自己の努力に依り一代にして富を成したる人々である、以上の人々に依つて經營さるゝ富强世界社から發行さるゝ本講義錄の決して山師的のものでない事は改めて云ふ迄もあるまい。

▼百圓の元金を得る法
以上述べ來つた所の致富の要道は主として百圓の資本金あるものを土臺として說いたが、諸君の中には百圓の元金をも有せずして、其の百圓を得るには如何にす可きかに惑ふ方もあるかも知れぬ、予も亦其の點に就ては特に意を用ゐ、講義錄に於て先づ百圓を得るには如何にす可きかに就て、數百種の職業別として其の實行方法を述べて置いたのである、故に茲には之れを省略して置く。

▼今直ちに決心せよ
諸君の中には此の廣告を見て直ちに贊成する人もある可し、又種々なる疑ひを起す人もある可し、予は斯くの如く疑ふ人も大いに歡迎するので、斯の如き人こそ予の大いに力を盡して說破せんと望む人である、故に此廣告を見たる諸君は其何人たるを問はずハガキを以て東京市神田區一ツ橋通町八番地株式會社富强世界社へ『貯蓄投資研究會規則書送れ』と申込まる可し、內容明細に分る規則書無代にて進呈す。

購買入札
大豆四百十石　監獄納
右購買ス詳細ハ大正六年七月三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

廣告
弊店儀今般整理上必要有之擔者に對する債權未整理の分は御手數ながら來る七月四日迄に御申込被下度萬一右期日內に御申越無之場合は其質に任し不申候
仁川　(利)森仲買店

專賣特許分權
吾人の家庭用として一日も缺く可からざる日用食料醬油代用品の製造
弊店販賣の千代の味は古來未曾有の新發明にして[illegible]
大阪日本橋一丁目東入南側
大久商店
電話南五七八六　振替大阪五六六一

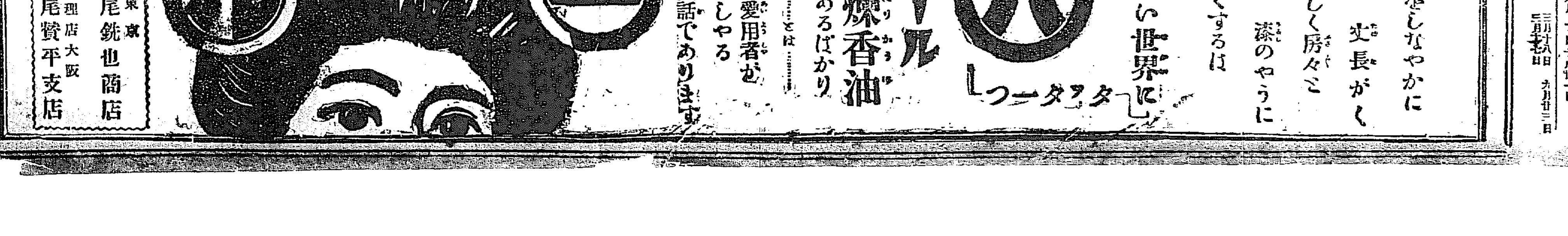
日本麻絲紡織株式賣出
要項
一、賣出株數　一千株(弊店引受分)
一、拂込金額(一株ニ付)　金拾二圓五十錢(拂込濟)
一、賣出價格(一株ニ付)　金[illegible]圓以上
一、契約頭金(一株ニ付)　金八圓也
▽日本麻絲紡織株式會社の事業たるや本邦麻絲紡織界の[illegible]
[illegible]
合資會社　桐生屋株式店
電話　一二五一番、一五〇四番
振替　口座東京三五一八一番
電信略號(トウケイ、ヤマボツキ)

土藏あり　保管安全
まつちや
質入　高價貸
明治町二丁目八十七番地
支那領事館前通
南質店
特別丁寧に預る

致富之策!!　追呈
營業所(堂島濱壱丁目)
大阪堂島米穀取引所仲買人
下今延商店
電話　北四六八番　北四六九番　北四七〇番　北四五六番(夜間)
[illegible]

恩給
年金
五ケ年分貸金秘密低利ナル事他ニ比類ナシ
申込者多數ニ付七月十一日ヨリ釜山、仁川、京城
(出張希望者ハ至急申込アレ)
名古屋市西區江川町二丁目
渡邊雜貨化粧品店

▲京城溫度　[illegible]
[illegible]



明君道中記

第百九十五席　田邊南龍口演

長七郎は突如其處へ來て 長『コレ〳〵煙草を喫むのであるから火を一ッ貸してくれ』○『さア付けなさい』長『茶を一杯くれんか』○『贅澤を云ふな茶なぞは無い、湯があるからそれを飲みなせい』長『一杯くれ』湯を呑み煙草を喫んで暫く休んで居たが 長『イヤ大きに厄介であつた、さア行かう』と立上るから山賊共は ○『オイ〳〵さん〳〵煙草を喫んだり湯を呑でさア行かうとは何だ』長『何か用があるのか』○『用があるから呼んだのだ』長『用とは何だ』○『俺達は好き道樂で這麼處へ出て居るのぢやアねえ稼業に出て居るのだ』長『然て山雷でも致し居るか』○『山雷じや無ねえ、山で仕事をするから山立山賊とでも云ふのだらう、俺達は盜人だ』長『フヽン山賊か』○『侍な文句だが此處は地獄の一丁目、這麼處へかゝつたのがお前方の不運だ、さア身ぐるみ脱で行きなせえ』長『我々を裸體にして金を取ると云ふのか』○『知れたことよ、ヂタバタすると命が無えよ』長『イヤ命には替られぬ、そんなら今裸體になつて遣はすから待つてくれ、さア宇平次宅兵衛皆裸體になれ』宅『我々共も裸體になりますか』長『默つて裸體になんなさい』長七郎が裸體になるから皆仕方がない、殘ず裸體になつてしまふ 長『さア殘ず裸體になつて衣類と金子を遣はすから受取るが宜い』○『大層呉れッぷりの宜い人だ、遲くなると叶けねへから早く行きなせい』長七郎は裸體になつて一同を伴れ道の半丁も先に行く、跡で山賊が大小から衣類を見て驚き ○『是は大變だ、葵の紋附だ、這麼物を取た節には忽ち知て首が飛ぶ』△『然で何とい奴等だらう』○『何でも身分のある人に違ひねへ、追付くは行めねから跡を追蒐けて此大小と衣類を返して遣らう』△『然し折角だから金だけは取つて置け』と山賊共は跡から追蒐けて參りましてやう〳〵に追著いた ○『オーイお武家樣少し待つておくんなさい』長『何だな』○『此の衣類と大小はお返し申しますから何うか著て下さい』長『折角遣つたものだから貴樣達が著たら宜からう』○『冗談云つちやア叶けません、這麼物を著ると直に私共の首が飛びます、葵御紋の附いた物を著る處ぢやアない、貴方は何といふお方だか知らねえが、身分のあんなさるお人でございませう』長『葵の紋附を著たからと申して別に不思議は無い』○『デスがお返し申します』長『返すといふたら返せ、さア宅兵衛皆衣類を著ろ』と各々衣類を著しましたが、胴卷を受取つて見ると中に金がございませんから宅兵衛が 宅『コレ此の胴卷の中に入つて居つたる金は何うした』○『それはお貰ひ申して置きます』宅『馬鹿を申せ』○『此金を返してつまるものか』宅『汝返さんとあらば其分では置かんぞ』○『賊に恐喝しやアがる、此金を返して堪るものか、エー面倒だ遣ッつけろ』命知らずの山賊共宅兵衛目蒐けて打てかゝつたから傍に居つたる宇平次も是までと思つて片端より叩き伏す、宇平次宅兵衛が賊共を追拂つて居りまする處へ絶頂より足を早めて下つて來つた一人の侍、此の體を見るより其處へ飛込み來つて山賊共を片端から打伏し或は投付け踏付す、イヤ其の働きは素晴しい、只さへ弱つて居る處へかゝる者が來て助勢をするから山賊共はコハ敵はんと思ひ蜘蛛の子を散すが如く逃失せてしまひまする、宇平次宅兵衛は彼の侍に對ひ 宅『アイヤ其處なる御人御助勢下され有難い、然て其許は何と仰せらるゝ御人か』尋ねた時に彼の人物は大地へ兩手を支へました。

一つあげようか 木村屋パンを などゝじらして憎い人 (京城明治町 電一六七〇)

雨天には簑と笠 金川商店 龍山漢江通 電話六四八番

宮内省御用達 最上清酢 登録商標 MARUKAN 品質及釀造高日本第一也 美味滋養に於て日本第一也 京城太平通二丁目 日本醬油釀造京城出張所 電話二四五番

●マラリアに一番 ヨクキククスリハ 龍山林藥房製劑の マラリヤ特効丸 藥價 金十錢 三十錢 五十錢 ▲郵税二錢 ◎ニセモノアリ御注意● 本舖 龍山 ㊑林藥房 京城本町一丁目 代理店 山岸天祐堂

七月五日 木曜 舊五月十七日戊申 本命一白 北 先負

▲一白● 物のきかぬ事有る日新事見合 西ノ方は吉 ▲二黑● 〆括わるき日 新事手控爲事は吉 ▲三碧● 上逆の日 轉居旅行入學 ▲四綠● 保證請判爲す 轉居行 商求 職名出入學 ▲五黃● 一利一害の日なれども新 ▲六白● 進で吉 ▲七赤● 繁榮の日 轉居入學 名弘 求職建前 ▲八白● 遊出 慶緣 出入旅行萬吉 ▲九紫● 一寸一ぱい喰はんとす 新事手控爲事に吉 萬事に用心せらるべし

演藝案内

御成座 電一九一 現代新派當世劇一行 七月三日替り狂言(四日目) 一番 喜劇一分間壹萬圓 二番 大悲劇女漁師 十場

黄金館 電話二六三 (京城釜山一手代理店) 六月三十日より本館開館一週年記念特別大興行 ▲山科大石妻子別れ ▲新派大活劇 ▲泰西大滑稽チャプリン ▲泰西活劇 ▲新派大悲劇

有樂館 早川演藝部 電話 ▲第六篇 ▲神秘劇

壽館 電話一〇三 三代目桃中軒雲右衛門一行

稻荷座 本町二丁目 常陸川馬生一行 大阪浪花節

大正館 櫻井町 電話八七三 七月三日より替り 新派悲劇 活劇 大正館

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 最も精巧なる技術を以て可成低廉に御需に應じ候 京城日報社寫眞製版部

今は腦病神經衰弱の治療時

■初夏の今、腦の營養に注意せよ
■醫學諸大家の治療法を聞け

◎他の歡樂を羨みつゝ
◎自ら懊惱する患者の不幸

夏の今、腦の保健が肝要である。さあ其の大切な季に當つて爲る可き事、腦病で不愉快で治りがつかなくなる腦病患者程不幸な者は又とあるまい。ブラ〳〵病人と人も云へば自分も許し兎角纏まつた仕事を片附る氣はあれども着手つて見れば倦然して直ぐ拋り出して終ひ度くなる。無精になる度忘れする虚弱くなる氣が鬱になつて新鮮の生氣衰ゆる自然の現象に全く反對に沈んで終ふ。神經衰弱は現代病アメリカ病と唱へられ何でも腦を使ひ過ぎる結果此病に取附かれるのである。大抵でなくなつたが爲に誰でも腦を使ふ事は一通でない。生活が昔と比べものにならぬ位の負擔は腦の働に若い人達の腦力が一層增加して行く傾向は今の若い者はれない事實である。

◎いろ〳〵は恐ろしい症狀の痛々しい

今夜の安眠は明日の活動力を揮さする休養である。若し眠が足りない時は健康な人でも翌日は一日頭が重苦しい。况して病的に安らかに眠を得られない場合、腦が悪くなるのは當然の話である。神經衰弱の初期は第一に不眠症に罹り、頭腦が冴えて〳〵しないで何も面倒臭く倦怠い事夥しい。耳鳴がしたり頭がヅキ〳〵痛んだり蟬の鳴きがピリ〳〵と耳に響へたりする。腦の全面を薄紙で包んだ樣な朦朧の意識を感じ、眼前に異樣の光線や金星が散見き急に起上つたりすると眩暈のする事もある。眠られない頭が重い、面倒臭いと云ふ容體は神經の疲れで、よくある事である。之を何げに拋つて置くと正眞正銘の腦病に神經衰弱婦人ならばヒステリー血の道と云つて難治の症に陷つて世の中を娯しむ望みも失せ、哀はかない生涯に埋つて終う。神經衰弱は若い人に多い若い人を憂鬱に無氣力に化して記憶力自信力決斷力を奪ひ去り大きい事も小さい事も成し遂得ない弱者として生存競爭の巷から放逐せむとするのである。成功!之は健腦を基とする。腦を痛めて榮達を希ふ事は出來ない。立身出世の源泉たる腦を毀して煩悶し苦惱し焦慮する弱者を救ふ療法はないものか。最近醫界の能率を增進する國家的の問題として醫藥界の研究事項となつたのは全く腦神經衰弱症の治療法であつた。

◎民間藥中の第一
◎レーベンの卓効は誠である

ありふれた健腦藥は澤山ある。其等のではなく眞實に腦病を根治する藥劑の發見に半世の苦辛を重ねた醫學の士があつた。醫學士富持爲治氏は是れで多年の研鑽は良藥レーベンを世に出したのである。岡田醫學博士はレーベンの效力に對して『なる程之は良い』と激賞せられ多くの學者も推奬せられたのであつた。レーベンの長所は民間藥中の白眉であると云ふ澤山あるが大別すれば次の三點である。

(一)本劑は純植物性の藥質を有し米麥を常食とする日本人に適す。

(二)腦の要素たる燐酸を多量に含有するが故に腦の營養作用も最も旺盛。

(三)和漢洋藥の製劑方法によれる事

明式の製劑は陸田醫學博士森繁吉氏を初め此三つは陸海軍大醫官其他の專門諸大家が日を揃へて喫賞推薦せられた事を見ても坊間ありふれた藥と其選を異にするのは明白である。

◎家庭療法を記した
◎治療書贈呈の計畫

病氣に上下の差がある譯でもないが腦病に對する醫藥家の態度は眞摯である。謹直であるレーベンの發行者たる中南定太郎氏はレーベン頒布に對し自ら強烈なる信念と誠實とを以て先藥草園の經營を志し昨年南北支那地方を漫遊し藥質の優秀を保ち歐洲戰亂の爲に被つた打擊を物ともせず藥品の高價を維持するは勿論藥價の直上げを爲さずして患者の爲に奮鬪した、そして治療の一日も早く効果あらしむる爲め常持醫學士著『腦神經衰弱療法』と博士大家の『精神療法』書を申込者に無代配布して居る。腦病神經衰弱に惱む方、又は此症に罹つた價を知る爲に先づ第一に東京市京橋弓町廿二弘濟院(中南定太郎宛)ハガキで遠慮なく今直ぐと御申込になれば誰方にも無代で前記二冊の本を贈呈致します。――附記 良藥レーベンは健康な人にも健腦補正藥として卓効があるレーベンの藥價は、三十錢、五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢の六種ありますが藥の服用と否やに不拘前記の書冊は無代で差上る事になつて居るのである

アザそばかすなまづホクロ入墨イボ 等の爲め困難の人はハガキにて申込あれ皮膚を害せず最も手輕に而も其効力實に偉大なる他に類なき良劑を懇切に詳報す 東京市向島小梅町 平澤藥院

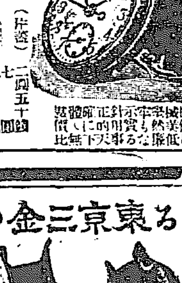
りん病 消渇 を早くなをすには柳瀨陸軍藥劑官が苦心してりん病のよく直る事をくわしく書た本を無代で差上げますからハガキにて申込あれ 東京本郷區東片町九三 中央藥院

盲目に杖 目に藥 ◎スグに効ある目藥!! 直治水!!

直治水 特長 ○最新高貴藥を配伍す。○製瓶は嚴重に殺菌消毒す。○効驗は迅速偉大なり。○外の眼藥で効なき人試よ。主効 ○○○トラホーム ○○○はやりめ ○○○かすみめ ○○○やにめ ○○○うみめ ○○○めくさめ ○其他眼病諸症に効あり。 新式點眼器付十錢、廿錢郵税二錢 全國各藥店に取次す 本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

和洋家具 … 増田本店

新荷著 懷中時計 アンクル製 スイス製

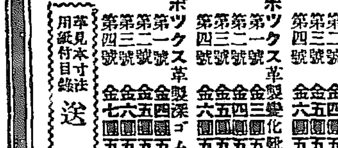


(ニッケル側)十八形 … 小包郵便にて御注文に應じ候 本店 京城本町二丁目 イングレツシー商會 電話九七二番 時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商

眼科專門 金井眼科醫院 京城本町四丁目カルス溫泉横(電一五五六) 日曜祭日午時中 金井豊七

朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 電話 一六一三、(振替貯金口座 京城三三番) 支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、傅家甸、營口、龍井村 出張所 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

信用ある東京三金の靴



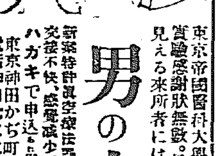
ボックス革製編上靴 第一號 金三圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢
ボックス革製變化靴 第一號 金三圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄 送呈
良上の技術を以て精選せる材料を熟練なる職工が入念に製造せしもの一般紳士の好適品なり御注文の節は足型と御注文書御送付の上代金引換小包にて送附す
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六〇九番・振替東京壹七壹參番

在庫豊富 迅速確實 歐米鋼鐵、純國產鋼各種 井口鋼鐵商店 英國サミールオスボン製鋼會社關東代理店 英國アーサーバルフォーア製鋼會社特約店 東京市神田區東紺屋町一番地 電話神田四〇九、六九(特七) 振替口座東京二四三八一

ミツワ家庭藥販賣 時候の變り目にミツワの藥を御用意 朝鮮特約店 熊平支店 長電話六二四番 振替京城二二二番

皮革 精米研磨革 綴革 動力帶革 靴原料 青象本底 釜山大廳町一丁目 三星商會 電話長七八〇番 ▲精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲

高井醫院 内外科 小兒科 花柳病 京城本町二丁目(憲兵隊前) 電話二一六番 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 院長 正六位勳四等功五級 醫學士 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彦



男の生殖器病 新案特許眞空療法器は生殖器發育不全、包莖、陰萎、遺精、夢精、交接不快、感覺減少、神經衰弱、手淫、房事過度の障害に卓効有ハガキで申込め醫學博士證明の圖入說明書無代郵送す 東京神田かぢ町五 東京眞空療法研究所 電話神田七二二番

電話開通二〇六八番 税所齒科醫院 京城旭町二丁目八一(府廳裏通) 東京帝國醫科大學。公私病院實驗感謝狀無數。局部に自宅で外用せば偉大の効が目に見える來所者には醫院部にて懇切說明す 見習看護婦入用 高等小學卒業程度

京城日報

第三版

七月四日 (夕刊ご合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 郵稅一ケ月金五錢 前金に限り三ケ月分金…
廣告料 …
發行兼編輯人 奧田直之介
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
電話番號 …

二、六〇 二、八七 三、〇〇 …さず新穀大阪接寄下放れたるが移り行く現物は七十三錢と押し…は又賣物多く六十五錢と押し…の裡に散會…

…を示したるが一面正米界は京城より買物入り込みたるも賣物なく旁に商人氣を待へたるより忽ち買氣旺盛したるも結局保合の成行を示した…不知今後の局面如何…

▲降雨霧深し

…夜來の濃霧甚だ深く午後三時前より小雨降り續き居るより一時…

▲在米減ず

…仁川在米…漸々減退し四月十五日の調査にて二十八萬俵…本月二日の調…

…三〇〇 ▲先限…

平均 一節 二節 三節 四節 値段 …

京城日報

露國の運命

去三月中旬、露都に革命起り、僅かに二三日にして、政體を變更し、假政府の設立を告げて、世間を驚かしたれども、露政府を倒すことは易く、新政體を確立することは難し、且所謂、三月革命なるものは、專らペトログラードに於て行はれ、爾後國會及び兵卒勞働者團體を、基礎とする所の諸勢力、互に、其消長を競ふて、以て今日に及ぶと云ふ、露西亞全國民の運命は、未だ此に、定まれりと謂ふべからざるなり。

露國革命の主動力は、露都に於ける、兵卒勞働者團體にして、彼等の背後には、社會主義者あり、其目的とする所は、政體變更よりは、寧ろ社會組織を破壞して、之を改造するにあり、平等無階級を唱ひ、土地分配を呼號したるは、則ち彼等の平生の主張に外ならず、特に露西亞は、農民にして土地を所有するもの甚だ寥々、國内の耕作地は、概ね國有地共有地、若くは、大地主の所有地なり、故に、若し今日に於て、佛國大革命の際に行はれたるごとき、土地分配を行はむとするときは、露西亞全國の、農業地の上に、大革命を行はざるべからずして、佛國のごとく老熟せる農業國ならば、其を實行するの方法もこれ有るべしと雖も、露國は之に反して、其土地は廣大、其農民は稀薄、其耕作は極めて幼稚なる處にては、耕作地を農民に分配することは、甚だ困難なるのみならず、佛國の如く、是に由りて一擧、農業の振作を贏ち得るといふ望みも亦これ無し、歷史家者、佛國革命は、政治上には失敗したれども、經濟上には成功したりと云ふは、農民の土地所有權を確立し、其農業の勃興を來たしたるを、指すの義に外ならず、然れども、今日の露西亞亦、經濟上の成功を贏ち得るや否やは甚だ疑問なり。

且、近報に依れば、露都革命の消息、漸く各地方に傳はり、兵士の歸郷するもの日に多きに從て、所在農民皆、土地分配の事の、近く將に行はれむとするを信じ、今や既に、其權利の爭奪に是れ急なり、時季既に農業期に入りたれども、農民は此事にのみ熱中して、復た耕作を顧みるものなし、人民は官憲を脅かす、下級官吏は上級官吏を凌ぐ、兵卒は將校を侮り、各々、勝手氣儘の振舞を爲すを以て、露西亞全國、通じて、且是れ、無秩序無政府といふ狀態にて、此分にて進み行かば、産業荒廢、底止する所なかるべく、土地爭奪に、則ち農業敗滅の原因たらざるべからず、露國大饑饉の將に至らむとするを思ふときは、轉た慄然たらざるを得ずと云ふ、其れ、露都の革命は、食物暴動を兆端と爲すといふにあらずや、當時都會は、食物の缺乏に苦みたるに反し、田舍地方は、食料品の餘剩ありと稱したれども、地方の堆積品とて自ら限りあり、早晩、其を消費し盡くすの時至るべし、而して農民耕作に勞めずして、徒らに爭鬪を事とすること、久しきに渉らば、從來の堆積品盡くるも、之に續くものを得るに由なし、亦憂ふべからずや、露國民の、眞の革命が痛苦を經驗するは、蓋し、今後の事に懸りて存すべし。

隣邦を奈何……對支國策を確立せよ (十七)

對支活動の個人的要件(上)

中島生

對支活動に於て、日本人が他國人よりは、遙かに勝れたる資格を有する事を、前に說いたが、併しそれは日本人が其の資格に宛て嵌まり得ると云ふのであつて、實際に其の資格を備へて居ると云ふ意味ではなく、又た現在支那に在る日本人が皆前記の資格に適應して居ると云ふのではない。眞に努力するに於いては、日本人こそ最も支那に在留して、活動するに適當なるべきを言ふたのである。素より今日在支那人中には、人格識見共に立派な人が少くないことを認むるのであるが、多數者の中には、隨分如何はしいものも少なくはない。官職を帶び、公務を荷ひ、或は有力なる事業の經營者又は代表者として在留する人にして、眞に國家的觀念に基づいて活動する人は、支那人間にも信用があり勢力を有して居るも、其日暮しの連中のうちには、始末におへぬ者がある。日本を喰ひ詰めて、飄然支那へやつて來たと云ふ樣な者は、失張り支那で、いろんな事を行つて、日本人の面目を毀けて居る。山東省邊りには隨分酷い連中が散らばつて居る。務に濟南の日本人の人氣と來ては、最も良くないやうに見ゐる。聞く所に依れば、濟南府では、支那人の呉服屋では、日本人と見ると、金を先づ出して置かぬと、品物を見せて呉れぬと云ふことである。是れまで日本人の爲めに品物を引つたくつて逃げられた事が幾度もあるので、それに懲りたのだとの事である。不信用も此處まで行くと、侮辱になるのであるが、畢竟是れ自ら招くの侮辱である。少し日本人の數が多くて、氣が強くなつて、何か云ふと支那人と衝突を起し、理非何れに在るにせよ、支那官憲の不法だとか云ふ事になつて、騷ぎ出す。支那人の方でも、折れて置かうと云ふ事になるから、面倒になるから、左樣な風である以上は、日支親善など言つても容易に行はれやうがない。在支邦人の數を增す事が必要であるが、以上に、其の質を良くする事が一層必要であると思ふ。苟くも日本人として支那に踏み出して居る者は、個人そのものが國民を代表する者であるとの自尊心がなくてはならぬ。今日滿洲方面に於ては、多少植民移住の意味で、邦人の出動を見るに至つたと言ろけれども、中部支那殊に長江沿岸に於ては、未だ移住民といふ意味で邦人は存在して居ると見る事はできない。素より支那には四億の民が居る。歐洲人が南北亞米利加を移住開拓の意味で取扱つた如く、支那大陸を扱ふ譯には行かぬ。遠慮も要るし、自制も要るのである。大手を振つて白人が黑人や赤色人種の間に横行濶歩するやうには行かぬ。支那人といふものを朋友とし顧客として之を遇するに非ざれば、支那に赴いて活動する事は困難である。在支邦人の質を良くすると云へば乃ち日本人が支那に行つて働らく爲めに、相當の資格を必要とすると云ふ事になる。少くとも日本人の面目を保つて、有効に活動するには其れ相當の條件を備へなければならぬのである。

個人的に如何なる條件が必要かと云へば、第一に(茲に第一第二と云ふは、輕重緩急を順序付けたのでなく、便宜之を排列したまでである)言語に通ずる事である。支那人が日本語を知つて呉れれば、此上もない事であるが、未だ〱日本語には英語ほどの勢力も、支那人間には無い。中部及び南部支那に於ける、開港場あたりでは英語の勢力は頗る大なるものがある。吾人をして言はしむれば日本語の勢力は當然英語を凌がねばならぬ筈であるが、到底短い歳月では覺束ない、以上は日本人として支那語を知つて居るといふ事が已むを得ざる必要であり又四億の支那人間に伍して廣大な地域に活動するからには、絕對に必要であると思ふ。言語が通ずれば意思の疏通も圓滑にできるので、在留邦人が支那語をよく操ると云ふ事は最も必要であると思ふ。

夏の金剛山

丸山晩霞

(三)新萬物相 ○○○○ 金剛山の絶景中の特に稱せられてゐる、新萬物相は、石門を潜つて、展けた奥萬物相の奇に接する、岩石を攀ぢ得りて少しく下ると、そこに天の…の水盤が岩上に三箇列んであるそこより下は降る事が出來ない。こゝに立つて右顧左眄の奇に絹してある。然し一度是萬物相の奇に接したものはこの奇に驚かない。

誰 (1)

布施生譯

巴里のプロバンス街に保部銀行と云ふ有名な銀行がある。丁度大正二年二月二十八日の事、朝の九時頃に此銀行へ突然這入つて來た一人の紳士年齢は四十ばかり、丈が高く色の淺黒い一寸見ると軍人らしい顔貌で要服を著けたのだ、帽子に手も懸けないで受附を覗き込み『金を受取りたいの[illegible]が』と呼懸けた。屋内には[illegible]い行員が四五人、早出組が[illegible]役の勤近を煖爐圍んで談話に[illegible]て居た所なので、不意のお客樣に面喰つて誰も即座に應答する者も無かつたが、頓ての事で一番受附口の前に居た壁尾と云ふのが…

…來やうと言つたきり、這入つてきた時と同じ調子で、會釋一つせずさつさと戸を開けて出て往つた。『そう言へば鈴富の奴遅いなあ』『よく怠けるぜ、あれでも君出納係だ』『仕方が無いさ、頭取の寵愛があるんだから』『兎に角派手な生活をしてゐるぜ、よく何時までも往らないでゐるものだ』『何、内々相場に手を出してゐると云ふ噂があるよ』『儲けたのかい』『そうだか、近頃は損耗續きだと云ふ話も聞いて居る』人の噂に花が咲いて話は彌み出した處へ噂の主の鈴富昌がついと這入つてきた。三十前後で流行型の仕立下しに身を包んだ、少し氣取氣味な、嫌味らしく取れない所の無いでは無いが、見た所背のすらりとして優整な、其癖冷い程沈著いた美男子である。

『やあ鈴富君、今君を尋ねてきた客樣があつたよ』『鋼鐵王だらう』『さうだ今朝九時に十四萬圓受取る筈だと言つて怒つて往つたよ』『そうか、少し遅れた、しかし金遣は無いさ、今に引返して見るだらう、何、金は昨日ちやんと用意して置いたから、何時にでも渡せる』と言捨てゝ自分の部屋へ這入つて往つた。

今の世の銀行は其建築の堅固な點から謂へば宛然一個の砲壘である。中でも有名な保部銀行の事とて甘藷遣は特別に念を入れ、殊に金庫を据ゑた部屋の用心堅固な事は想像の外で、室と云ふよりは鐵の窟と謂つた方がよい位、扉を閉めて仕舞へば開ける事は勿論、斫ぬく事すら思ひも寄らない。加之に金庫はピッケ會社專賣の最新發明文字合せ式鍵前が附けてある、出納係は毎日暗號文字を變へて置く、文字が合はなければ鍵を宛がつたつて金庫は開かない、そして毎日の文字は出納係から頭取に報告する、鍵も頭取と出納係とが一個づゝ有つてゐる、畢竟全體で何十と云ふ行員の中で金庫の開閉が出來るのは出納係と頭取との二人だけである。

○鷄林同人會詠草

からの鳥に夢ゆられつゝ和はりの山路を行けばきとし鳴くなり　岡 忠孝

ほろ〱とさくら花ちる岡の邊にきとしなくなりおかつき月夜　佐々木信一

丹つゝじの花さく岡の小松原朝日にほひて雉子なくなり　坪内孝

富人のすみたる家のかきの外に霜くきこゆるきじの一こゑ

蚊帳 —五の日十の日會—

○夜の斷水の蚊帳吊かり　浮碧樓

○蚊帳の中三味遠くきこね來　何平

○蚊帳も新らしいがあの朝月　華虹

○蚊帳たんだるひざまづかる丶　烏堂

朝◇鮮◇彙◇報

朝鮮彙報 大正六年七月號 (定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘)

主要目次

口繪 釜山第二棧橋、泗川新寨の城址 小鹿島慈惠醫院全景、金剛山の森林

□典獄に對する總督訓示
□道慈惠醫院長に對する總督訓示
□面制に就て……宇佐美內務部長官
□朝鮮に於ける陸地棉の產額增進に就て……中村技師
□天佑の有無……村上文學博士
□發電水力調査(承前)……遞信局
行政 癩病患者救療狀況◎全南の面吏員選奬及篤行者旌表の事績◎平南北道行政區域名稱一覽表 財政及金融 大阪對朝鮮貿易◎四月中朝鮮經濟概況◎五月中朝鮮貿易
□大正六年度朝鮮總督府追加豫算綱要
□同朝鮮總督府醫院及濟生院特別會計追加豫算金額表
產業 工產物調◎桑田の增加◎下付樹苗成績◎優良稻の普及◎濕懸木の養苗並木養成成績◎樹苗圃產コガネムシ類に關する調査◎商業會議所一覽 交通及土木 朝鮮に於ける電話事業の過去及現在◎遞信事業概況◎五月中の鐵道運輸 學事 留學生の表彰◎普通學校教員朝鮮語講習狀況 司法及警察 戰時に於ける經濟事情と犯罪の關係◎戰時に於ける特種犯罪 研究資料 朝鮮の漆器業に就て 浦潮 外國事情 通信◎滿洲隨行日誌の中より◎地方通信◎雜報◎敍任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例◎朝鮮彙報大正六年(自一月至六月)總目錄

▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

廣告

最新刊
◎科學的占術
◎新式開業寶典 全六冊類入 三、八〇
◎支那の眞相 大河平隆光 一、七〇
◎進むべき道 南部文雄 一、三〇
◎新譯韓非子 野中元三郎 九〇
◎信仰者の法律顧問 一、八〇
◎日本美術史講話 一、八〇
◎新譯碧巖錄 蜂谷 一、二〇
◎世界百道樂 堀內新泉 一、二〇
◎浮城物語 矢野龍溪 九〇
◎宗演禪話 釋宗演 九〇
◎一喝禪 南天棒中原 九〇
◎徹底禪 秋野好道 九〇
◎無我の生活 新井石禪 九〇
◎默仙禪話 日置默仙 九〇
◎悟道の妙味 菅原時保 九〇
◎禪志開話 釋宗活 九〇
◎ペン手紙と楽書書方 八五

實驗 化學工業

大阪屋號書店

繭絲委託問屋
豐橋市札木町
合資會社 豐橋繭絲會社
電略(一〇)

公債株式現物問屋
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町二番地
細野傳次郎商店
電話浪花四〇九番 五〇三番 六〇一番 四六八九番 六九八番 五二五〇番
電信略號ホソノ

「牛」の著者 岡本米藏君新著
天下渇仰の名著愈出づ
篳笥
四六判胡表紙函入 本文三百二十餘頁 正價金壹圓 郵稅八錢
『牛』の姉妹篇也。著者は現代青年の最も信頼すべき味方也。不健全なる思想の芟除、健全なる國民思想の建造に日夕焦慮する著者が愛國の熱情迸發して本書となる。海外事業の發展と國民思想の建造とは著者畢生の願望にして亦た生命也。從つて說く所や血あり涙あり、斷じて几上の空論にあらず。本書一度出版の報傳はるや四方爭ひ求めて豫約既に萬を越ゆ以て著者の權威を知るべし。
牛 岡本米藏君著 七十七版 正價壹圓
東京市本町 博文館發行

第卅九回特別帝國議會

衆議院（十二）

▲朝鮮統治説明 第二分科會に於ける

二日衆議院豫算第二分科會に於ける政府の朝鮮統治成績に關する説明左の如し

▽後藤内相「大體に於て朝鮮の財政は頗る上結果を齎せり一部に多少の不成績あるは一般政治に已むを得ざる處なり朝鮮人を考ふるに内地人を以てするは當らざるもの、如し財政獨立計畫は前總督たりし寺内首相の苦心したる處にして朝鮮將來の發達を圖るの精神より出づ然かも其成績は頗る可なり酒税の如きは或は一部の間に懸念する如きこと全然なしとは云ふべからざるも北詳細は總督府當局より述べらるべし教育に關する經綸に就ては充分の注意を以て施行し居れり元來前政府時代に於て或る外國は其國家思想を蹂躙せんと試みたることあり今や彼等に忠君愛國の思想を養成せんことは政府に於て格段の考慮を致しつゝあり教育の改善に關する施設を專らとすべし國語の普及は即ち精神統一の第一歩なり」

▽鈴木政府委員「朝鮮の財政獨立計畫の動機は大體帝國中央の財政に關聯す出來得る丈中央財政に累を及ぼすを避けんとし中央政府の要求を容れて之が計畫を樹てたり從來朝鮮は中央政府より年々三百萬圓の補助を受け居り財政の大部分は國税民歸の爲め支出せられ其結果一般經濟は豫期の如く發展し著しく民力を增大したり從つて中央政府の補助金漸次減少し大正六年度五百萬圓、同七年度三百萬圓、八年度には何等補助を要せざるに至れり租税徴收の成績の如き九割八、九分に至り併合前と雲泥の差あり歳入に於て豫定計畫の鉅額を來せるは大正三四年度の鐵道、郵便、電信等に關するものなるも之れ歐洲大亂勃發の結果にして今や順調に歸しつゝあり酒税を設けたるは却て朝鮮人の負擔を輕減せん爲めにして煙草税又然り政府は葉煙草には消費税を課せずされば鮮人は煙草消費税を負擔し居らず市街地税の新設は負擔の公平を圖らんとするものにして徴收率の如き内地人の方に滯納者多し教育の方針は精神教育に重を措くは勿論教育勅語の御趣旨に依り充分努力せり次いで國語の普及にして以て日本内地の氣風を移さんとしつゝあり教育に關する經費は可成り多額を投じ郷校財産の如き併合當時の恩賜公債利子の如き又教育資金となり居れり各道慈惠醫院の如き國費の恩惠的に投ぜらるゝもの多く又教育者に對しては他の官吏にあるものに比し却て優遇し居れり」（東京特電）

支那の形勢

▲不倫貝子張勳を罵る

前攝政醇親王、載貝振子、毓朗貝勒等の王侯等百四十名は一日朝宮城に入り宣統帝に賀詞を奉れり不倫貝子は王侯の勸誘を斥けて參内せず若し復辟せば眞の皇位繼承者は予なりとて張勳等の專横を罵れり（北京特電）

▲不倫貝子は皇帝たるものは予なりとて張勳氏の專横を罵り參内せず（北海電報）

▲張督軍の日和見

張奉天督軍は復辟に就き内密賀表を捧呈せしも表面は飽く迄冷靜を裝ひ例に依り當分日和見的態度を執らんとするもの、如く管内人民にも此の際輕擧する勿れと戒めたる爲め其後在滿支那人の態度は案内冷靜となれり尤も復辟を歡迎する者の中には私に歸服心を懷ける者あり又中には辮髪を斷ちたるを悔び居る者もあり（大連特電）

▲北京市中黄龍旗飜る

一日北京市中は黄龍旗を揚げて復辟の祝意を表せり（北京特電）

▲京漢、津浦兩線不通

○獨逸の注意深き沈默 東洋に於ける勢力撤回か

獨逸のザルブマン大佐はフォシッシェ、ツァイツング新聞紙上にて獨逸が亞弗利加に於ける植民地の還附を要求しながら太平洋に於ける植民地に對して注意深く沈默を守りつゝあるは之れ獨逸が日本と情意投合をなさんとする意志あるが爲にして斯て獨逸は日本の太平洋上に於ける特種の位置を認め日本の青島攻擊の因となりし獨逸の東洋に於ける勢力を撤回せんとするものなりと論せり（倫敦電報）

○アレキシーフ將軍逝く

日露戰役にて有名なるアレキシーフ將軍は七十八歳にて逝去せり（哈爾賓特電）

◉朝郵の横斷航路 八月二日元山出帆

朝鮮郵船會社に於て何れ其の經營の計畫ある日本海横斷航路の瀬踏み的試ろみを八月上旬に一航海丈け行ふ事に略決せし事は既報せしが今其の日取豫定を聞くに就航船平壤丸は七月三十日清津を南に發して敦賀航路に就き城津を經て元山に入港の上二日元山出航四百八十海里を約二晝夜にて横斷し四日敦賀著五六兩日敦賀に碇泊し多分七日頃發航九日前後に元山に歸港の豫定なるが其の積荷は何分早急の計畫とて多量を望む事は困難なるべきも敦賀揚げの北鮮生牛並に鑛物大豆等は若干あるべく復航は多く云ふに足る程の貨物はなからんと尚ほ日本海

▲横斷航路 は北鮮方面と名古屋京都を結び付けざれば到底航路としての採算は困難なるもの、如く其れには定期航路運航の必要あるべし又右の第一航路には乘客も若干有之べき見込みなるが世上多く日本海航路は四時風波絶えざるやう思惟するに似たれど夏の日本海は多少の風あるも波濤を起すに至らず比較的平穩なりと

◉兩道用水不足

京畿道並に黄海道に於ける最近の降雨は約七八十ミリに上り若し上記の降雨一時に到れば挿秧には必らずしも不足を來さゞるべきも斷續的なるため未だ植付に充分ならず今日の所五割内外の挿秧進捗に過ぎず尚ほ引續き降雨あり用水に不足を來さゞれば挿秧は普遍するとも時期遲れによる若干の減收は到底免れざるべしと

◉中旬荷動狀況

本旬の荷動狀態を見るに發送噸數六萬四千二百三噸收入十八萬七千百四十六圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て二萬八千四百一噸（七割九分）收入に於いて八萬四千三百四十五圓（八割二分）の激增を示せり本旬中出荷の主なるもの左の如くなり

一石炭 二木材 三米 四鹽 五豆粕 六雜穀 七大豆 八鑛石 九鹽干 十鮮魚 十一[illegible] 十二セメント 十三豆油 十四薪 十五肥料 十六木炭

以上の順序にして之を前年同期に比較するときは鮮魚に於いて約三百噸の減少を見たるのみにて他は孰れも增加を示せり主要貨物の出荷概況次の如し

▲石炭 依然好況にして貨物の首位を占め居れり例年夏季は減少を示せるが本年は工業用のもの多きにより夏季に入るも減退せず

▲木材 需要頗る旺盛なると福岡等に伴ふ軍用材多くを要するにより荷動頗る活潑にして主要貨物の第二位を占むるに至れり

▲米 米價は近來稀有の昂騰を告げ市況活氣を帶びたるも現在農家殘存米も手薄を報ぜられ取引不引合なると例年六七月の交は農繁の時期なるにより廻米活潑ならず加ふるに露國軍需米輸送の一段落を告げたるにより一般荷動鈍狀を呈し前旬に比し約二千噸の減少せり

▲鹽 北鮮方面鮮魚鹽漬用として需要頗る旺盛にして荷動益々好況なり

▲豆粕 荷動依然衰へず安東發内地移出のもの多數を占む

▲雜穀 米價の昂騰により本品の需要增加し輸荷頗る好況なりしが其の後産地品薄を告げたると割安なる滿洲粟の輸入多きにより出荷漸く衰へ前旬に比し千二百噸餘の減少を見るに至れり

▲豆 本旬に入り釜山に於ける倉荷增加のため發送を手控へたる向あり前旬に比し千五百噸餘を減じたり

▲鹽干 元山發鹽鱈の荷動引續き殷盛なりしにより總數千六百噸の荷動を見るに至れり

要之本旬の貨物運輸は前旬に比し豆、雜穀類に於て減退を見たるも他は孰れも其の選色あるを免れずと雖も前年同期に比較するときは同期は豪雨のため線路不通區間を生じたるため一般荷動澁滯し出荷甚だ不振なりし關係あるにも因る可しと雖も本年は石炭、鹽等著しく增加し尚滿洲粟の輸入頗る活潑なりし等のため數量收入共に約八割を增收し豫期以上の成績を擧ぐるを得たり

◉京畿春繭販賣

京畿道に於ける春繭共同販賣は豫定の如く七月二日第二日を漣川郡に開催し漣川郡第一回分共同販賣を施行せるが豫定石數二百石に對し集繭量二百三十五石を算し價格一萬六千六百二十四圓に達せるが繭の品位特等より等外迄の平均價格一石當七十七圓特等より等外迄の買上平均價格一石七十七圓二十一錢八厘にして入札者は十數人に及べるが内落札者は小口組南洋商會糸場等あり盛況なりしと因に來る五日第三日として披州郡平南郡の共同販賣を爲す害

◉中旬鮮鐵收入

六月中旬に於ける朝鮮鐵道の收入は客車收入十三萬二千圓貨車收入十八萬七千圓合計三十一萬九千圓にして之れを前年に比すれば十二萬四千圓の大增收を來し居れり尚ほ一日一哩收入は二十九圓九十六錢にして前年に比し十圓六十四錢の增を示し好況なり

◉浚渫船回航

豫て釜山港内の浚渫に從事し居たる浚渫船東萊丸は過日來彦島船渠に回航し修繕中なりしが此程修繕を了したるを以て二十九日釜山に回航し來りたるが天候を見計ひ一兩日中に仁川に回航する筈なり（釜山）

◉戸別割告知書

京城府税務課にては來る十日前後學校組合費大正六年度第一期分戸別割告知書約一萬六千通を其々發送する豫定なるが第一期分の未納者も尚多數ある見込なれば府當局は本月一日より他の府税地税家屋税等に於ける未納者と共に滯納處分を開始し動産不動産の差押に著手しつゝありと云へば未納者は此際至急納入を要すべく尚ほ戸別割第二期分指定納期限は本月末日なり

◉約手支拂場所打合

既報の如く七月三日午後二時より京城商業會議所商業部は府内商業者の主なる者を同所に招致して約束手形支拂場所を銀行に一定する件に就き打合せ相談する所ありたり

◉商銀上半期決算

朝鮮商業銀行上半期決算狀況を聞くに同期は米穀に對する放資順調なりしが爲め約七萬圓の利益を上げたりしも内地より諸償却金八千百三十九圓及び未經過割引料及び未拂利息合計金二萬千九百四十六圓を引去り當期純益金とも四萬百四十三圓を計上せり而して前半期繰越金は一萬四千二百餘圓にして合計五萬四千二百六十九圓なりと尚同行預金總高は百九十三萬四千圓なりと

◉三菱專用輕鐵認可

三菱合資會社の經營に係る平安南道江西郡沓林面和鶴里所在の鐵鑛山鑛石運搬の爲同社に於て同郡東津面鮍陽停車場の東南江西川の左岸を基點とし右鑛山に至る本線二哩十三鎖の複線及び支線四十八鎖（單線）敷設許可を申請中なりしが愈々七月二日附を以て其筋より認可の指令を受けたり

◉師團參謀長元山行

第十九師團岡本參謀長は北鮮方面部隊檢閲のため三日元山に向け出發せり

◉堀江東拓馬務課長

株主總會列席の爲め東上罹病せし堀江東拓馬務課長は引續き大阪にて療養中なるが最近頗る輕快に付近く歸任すべし

◉ホテル主任會議

鐵道局にては三、四兩日間鐵道ホテル主任

□沙市より　田宮準一郎

◇鐵道事務視察の爲め五月二十四日横濱を出發、海上四千二百餘哩を突破して六月八日無事シアトル市に上陸した。同市には七年以前滯留した事があるが、其當時と今とは總ての點に於て雲泥の相違がある、人口の如きも當時は二十一、二萬を過ぎざりしに、今日では實に三十六萬を超過して居るさうだ、是は華府國勢調査局の發表だから間違ではあるまい

◇自動車の多いことは實に素晴らしい位で、何んでも全市の自動車を三十六萬の人口に割當てると、七人に付いて一臺を有する勘定になるさうな。それに馬車！電車！シアトル市中はまるで乘物の世界といふべく、之等が西に東に飛ぶ光景は實に目廻るしい程で、街角を横切るさへ容易な困難な位である。

◇面白いのは若い蹶隊を以て兵士を募集して居ることである其の他活動小屋でも戰爭と兵士でないものはない、米國陸軍省の徴兵令は全米國に向つて（布哇及びアラスカを除く）に行はれ、華州を通じて應募者數は一千萬に達したと云ふシアトルでは二萬五六千の應募者があつたが、外に同市の日本人登錄所に九百人から初の邦人應募者が現はれたさうだ。

◇最初日本人の豫定數は五百人位であらう、と推定せられて居たが、事實は意外にも其倍數に達したので當局者及び新聞紙等は、日本人が如何に米國の法規を遵奉し正義の念が熾烈であるかを證する絶好の實例である、とまで稱揚した。

◇之に反し米國人の方は豫定數の五萬に對し僅かに其半數、即ち二萬五千の應募者しかなかつたので、當局者も私かに嘆聲を洩らしたと云ふ。吾輩は此事實を耳にして衷心から愉快を感じ、熱涙のはふり落ちるを禁じ得なかつたものである、取敢ず是だけを……。（六月十日）

◉南言北語

一氣呵成に出來た支那の復辟問題も張勳老一人が突然かつぎ出したかの樣に噂されて居るが▲其の實彼の黑幕には康有爲君が居る事を見逃してはならぬ▲武辮の一片の張勳老が唯一人青龍刀を振り廻してやつた仕事なら兎に角、鳴かず飛ばずの機の至るを窺つて居た策士連が呼吸を殺して成り行を見て居るから愈々問題が大きくなる▲段祺瑞君も南京に本據を置いて復辟反對の運動を始めた相なが▲宣統帝の上諭を見ると復辟慫慂者中に張勳、馮國璋陸榮廷の名がある以上馮君も復辟贊成者に相違ない▲併して其の本據は南京であるから果して段君が南京を本據として反對運動をやれば差し當り衝突する事になりはすまいか▲要は物である▲兩勇併立せず兩雄爭へば必ず一方は斃れるか其處になると支那は廣い▲此の調子で段々進むと愈々南北分裂が實現して▲南北兩總督が出來北は張勳老南は馮國璋と兩雄が對立する奇現象が飛び出すかも知れぬ▲左うする中間に頭兵を控へて四方を睥睨するものは支那の先づ差し當り段祺瑞君かね▲支那の政界も昨今の天候と同じで蒸陶しい▲一昨二日東京は京橋區出雲町のはちやうで朝鮮關係の貴衆兩院議員が懇親會をやつた相な▲集まつた者は關、古市、石塚、江藤、牧山、秋田、奥田、山根、鎌島、佐竹、頭本、山口、本田の諸の連中▲大分快談に花が咲いて「古市、花の若市」なぞの駄洒落も澤山だつた相な▲何れを見ても一頁千位の面白い處の所有者許りだから堪らぬ▲日比谷より此の方がズット賑つたらう▲ア、蒸陶しい

賴慶館記　子爵 清風 金允植記

大正四年十一月舉大典締儀於東京、薄海内外咸沐新化、協氣歡聲充溢區宇、慶尙北道有志紳士相與協議、以爲此曠世莫大之慶也、宜思所以永遠記念之道、是時適有道府郡參事之會、諸參事咸同聲協贊、途謀建築館宇、陳列物品、俾有益於民生日用則民蒙實惠感戴洪遺、非一時祝賀之比也、於是道内賢豪長者六十八人爭相捐醵所募金額爲一萬二百餘圓、内務部長官宇佐美勝夫氏及本道前後長官李軫鎬鈴木隆兩君莫不贊成從臾地樂館于大邱府道廳之内設上下二階陳列物產工事垂畢將以六月行落成開館式馳書于某下、以供諸人觀覽、名其館曰賴慶、盍取一人有慶兆民賴之之義也、京城求余文爲記、余聞之曰不亦善乎夫王者以民之樂爲樂、昔文王之作靈臺也庶民子來不日成之忘其勞而頌其德、以其與民同樂故也、今者大典之禮、普天同慶雖極豐亨豫大之盛然百姓蚩々不知帝力、唯此館之設與民共之、入其門而物產之委積、則知時和歲豐萬物繁庶矣、見耕織之具則知利用厚生可以開發知識矣、於是改劣爲良、捨舊圖新、互相觀摩富源日增太平之基、寔在於此詩云於乎前王不忘君子賢其賢而親其親、小人樂其樂而利其利、此以、沒世不忘也、夫推一人之慶而開兆民之利、使民沒世而不忘盛德、豈非此館命名之義乎、顧余老耄無能爲役、重違諸公勸托之意略記顛末右如

大正六年五月　日

の如き鼎兵は泰平の天地を破りて進行し五十億圓の募債と云ひ船艦の急造と云ひ一方ならぬ[illegible]工業の發展著しくオーク樹の下に村邑の鍛冶屋なりしもの今は歴々たる[illegible]の報道に徴するに支那は將來投資の最上スキファなり戰後の金融中心は[illegible]は資金豐富倫敦よりも低利となり國際間の金融取引に新クレゲットを生[illegible]

◉鮮銀券發行高 六月二十四日より三十日に至る一週間の[illegible]

◉給費傳習生募集
乙種傳習生約參拾五名ヲ募集ス 卒業後電氣通信術ニ從事スヘキ者 養成期間約七ヶ月 内地人ニ日額參拾五錢朝鮮人ニ參拾錢ヲ給シ卒業後日給内地人五拾錢朝鮮人參拾五錢以上ヲ給ス成績優秀ノ者ハ相當增給ス 詳細ハ最寄郵便局ニ就テ知ルヘシ
大正六年七月 朝鮮總督府遞信局

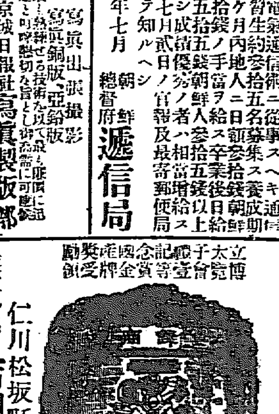
寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も低廉に迅速と可嚀親切を旨とし御需に應ず
京城日報社寫眞製版部

仁川 白神洋行 京城
鐵鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帯革總代理店
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帯革、ロープ、機械、工具、附屬品、其他
【物價表御一報次第無代進呈】

京日案内
普通一回前金五十錢 番外一回前金一圓（匿名一圓五十錢）
▲申込後中途休止の節は前金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料御添付の事 ▲御照會の節は必ず番號御記入あれ

◉店員入用 年齡廿歲前後身元保證人を要す希望者至急來談あれ 龍山鐵道構內電五〇番 松屋本店 237
▽尺八明笛オルガンヴアイオリン各種 電二五二七本町ウツボヤ書店振三三三 214
▽尺八出物あり極上五十圓内外迄是非御一覧を乞ふ 京城本町ウツボヤ書店電二五二七 220
獨乙製鐵身元込單發空氣銃一少許使用損傷なきもの半値内にて讓る 市内義井洞十二 松尾 238
◉看護婦又は見習看護婦至急入用 旭町一丁目一番地 酒井醫院 231
◉雜貨店員入用 但十六歲以上廿歲迄身元保證を要す本人來談の事 鐘路 マエノ商店 235
◉代診看護及看護婦見習採用希望者は履歷書迄附ありたし 平壤泉町 齋藤病院 207
◉市内不動產擔保低利金融 京城明治町二丁目六十三番地（月本商店前入） 山田 184
◉產婆弟子入用但し年齡廿歲以上の者免狀を有する者 南山町三丁目電話一四七九 杉原 227
電話開通 番外 三〇六六番 京城長橋町十五番地 產婆 增永禮子 236
太平町二丁目朝鮮公論社左横小路 礦物定量分拆 坂元分拆所 電話長二三四四 189
有給日鮮外務員募集 履歷書携帯面談の事 日本生命保險會社開城代理店 188
年金恩給低利最長期即時立替全額 極秘證書確實保管 ▲京城永樂町一商品陳列館表門前下角 江州屋本店 166
はねつぎ、うちみ、くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 206

品質優良 本火賣出
立太子禮記念博覽會 產業獎勵會 金牌一等賞受領



仁川松坂町 醸造元 吉岡酒造場 電話八二一 振替京城三七〇八

◉松田式ポンプ 灌漑用 家庭用

御申越次第目錄送呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番 二七七四番 振替京城二五六番

範模 牛乳 石鹸 洗粉 ニッソ 主宰 顧問 肥塚正太 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五番

常務理事山田烈盛儀病氣の處去る六月廿八日死去致候間此段謹告仕候也
大正六年六月三十日 東京市神田區一橋通町 財團法人 同仁會本部

父辰次儀豫而病氣の處養生相叶はず二日午後四時死去仕候に付此段生前辱知諸賢に謹告仕候也
追而葬送の儀は來る五日午後五時自宅出棺南山本願寺に於て相營み申候
男 木下清一
親戚 川浪作
小柳仁三郎
成 高木壽
友人 鶴三平
總代 樋口半左衛門
野田戸吉

●米國の財界

米國が戰爭の爲め利したるは日本と同樣なるも日本は戰地に遠く歐洲大動亂の波動をうくること少なきを以て此點は米國よりも遙に安樂なるべし予が五月中旬紐育を發したる際……れたるが參戰前と今日との米國の物價を比較せば三割以上五割の騰貴にして誠に食價の騰貴は空前の現象なり去れば總體より云へば景氣良好なり……會社……は戰後計畫……進行も……米……中米の投資を首として遠くは支那に注目するもの多く近來支那行米國資本主多々たり予も其一人なるが諸般……米國に……に亙朝の外債を……引受……し又中立諸國の金融は全然米國の援助を仰げり而して商人はバランスを倫敦より紐育に移轉して紐育市場……は今之をいふは尚早なるべし……視察途中來朝の紐育銀行家ハンチンソン氏は語れり(大阪電話)

……百五十一圓にて半期末決算……收に比し若干の膨脹を來し居れる

◇即位當時の淸國幼帝 ―九年前御年三歳の時―

□□□抱かれたるが宣統帝、抱きたるは攝政王醇親王□□□□

●重要なる四點 ▲支那今後の形勢如何▼

支那復辟問題の經過及び將來の豫測に就き某氏は語つて曰く、今回支那の復辟と云ふ事は實に疾風の如く突發してゐる、素より淸朝の遺臣を以て任ずる張勳氏は**▽夙に密**はしてゐたらうが、其の事實に現はれたのは誠に突然で吾等も寢耳に水の感なからずである、**▽に書策**事件の經過は新聞にも既に一部は出てゐるやうに一日の朝張勳氏は**▽宣統帝を訪ふ**て復辟の詔諭を開陳し同時に宣統帝及び張勳氏より黎總統に對しては復辟實行の事と復辟後は充分の優待をなす旨の通告を出し其の國政の奉還を求めたのである而して**▽庶政與論に決**し大淸帝國と尊め立憲君主政體となす以下八箇條の上諭を發し、愈々滿朝復興を汎く天下に告げ知らせた、で北京の混亂と驚愕は蓋し少なからぬものがあるらしい、倚て一方**▽黎總統を始め**政界の大立者たる王士珍李經羲氏等の態度は如何と云ふに、何れも卒然たる復辟には反對であるが總統はかう云つたと傳へらる『予**▽何も私事で無**い、國民に推されて總統の職に就いたのは茲に至つたのである故に寧國予の退職を要求し復辟に贊すれば予は何時にても總統を辭するが、然らざる限り、私事に滿朝を復興さすから退職せよと云つて來ても**▽予は斷乎とし**て之れを拒絕するの外はない』と總統としては先づ至當の言であるが、又李經羲王士珍氏等も左樣な出發點から復辟反對の意向を有してゐるのであらう、乃で**▽宣統帝**等と黎總統一派の間の交涉がどう落ちて行くか、更に張勳氏との**▽張勳氏**が復辟を實行するに付各省督軍との間に如何程の了解があるか、まだ各省督軍其其の態度を表明せぬから不明だが**▽奉天は**貴紙にあつた……しかし數二三日中には略明瞭するだらう、**▽贊成さ**その結果がどうか、又段祺瑞氏も反對との意見らしいから、段と各省督軍との間に如何なる連繫があるか**▽南京に**統あり、馮氏が其の復辟態度をどうきめるか、反對としたら**▽馮副總**其の出方は如何になるか、此の四點が支那今後の形勢治亂を測定するに重要な點だが多分張勳氏が一人**▽お山の**▽大將を極め込まね限り四百餘州亂れると云ふやうな大した事はあるまいと思ふ、其點は張勳氏も大に省察し馮副總統を南洋(南支の意)總督とし自身北洋總督に据り**▽黎總統**侯衛とする等の情報もあり其々途をつけるらしいからである**▽は一等**又支那のやうに國民個々の文化が進まず、頗る幼稚を極めてゐる國柄では、西洋式の共和政體などより立憲君主政體の方が**▽國情に適して**ゐるのである、適してゐると云ふ事は可能性を有つてゐる、乃ち如何なる曲折を辿るかは先づ措き結局大騷亂なく復辟は成功するであらう、唯支那の事は**▽容易に**離い、又北方では鎭定しても南方で復辟に關し八釜しい事件を惹起せぬとも限らぬから**▽論斷し**一概にどうなる斯うなると云へぬ事を特につけ加へて置く

◇趙松雪の畫いた蘇東坡笠屐圖 白蓮畫伯模寫

◇昨日油雲英畫伯より蘇東坡笠屐圖を描いて無佛社長に送つて來た◇油雲英畫伯は白蓮と號して心田安中植畫伯と並び稱せらるゝ斯界の巨匠である◇而して畫伯は十年來心神を禪學に沒入して居るだけ其描く所の書法の如きも超世的氣分がある◇この東坡笠屐圖は趙松雪の畫いたものを白蓮畫伯が模寫したのである◇右に就て白蓮畫伯の語る處に依れば此東坡笠屐圖は朱野雲の畫いたものが外に一つある◇それは彼の有名な翁方綱が所藏して居つたもので後ち阮堂の頗る愛重したものである◇この趙松雪畫の東坡笠屐圖は、今より二十年前に白蓮畫伯が支那に遊んだ時の所得と云ふことである◇或る日畫伯が西湖の曲園俞越先生を訪ね談偶ま東坡の文章と道學とに及ぶと◇曲園先生は畫伯を其寢所に引いて東坡の笠屐像を示してこれは趙松雪の畫く所の眞本だと云つた◇曩に見る所の朱野雲の畫く所と比較するに其筆法、神儀が逈に仙凡の隔りがある◇先生は曰く是れは原大明皇室の所藏で永樂の御印を鈐してあるが流れ流れて吾家傳世の珍品となつた◇是が假令親朋と雖も文學の士でなければ決して示さない實に絕世の墨蹟と謂つべしと◇白蓮畫伯は一見して愛敬の念に勝へず之を模寫せんことを懇願したが俞太史は未だ曾て人に模寫を許さない若し誤り模寫して原本の妨となつてはいけないからとのことである◇其後畫伯は懇々の情に堪へず幾度となく足を曲園先生に運んで切に其模寫を懇請して遂に許された◇畫伯は支那より歸り後病氣と放浪の爲め該本を何れにか遺失したので快々として心恒に悅ばなかつたが◇近日曝書に際して圖らずも書架の間から發見したのだそうな◇道の寫眞が卽ち白蓮畫伯が此の松雪の模本に依つて更に模寫したものである

●當分續く 今日此頃の天氣

永い間旱魃して居つた朝鮮も愈々雨期に這入つた三日氣壓の配置は大阪地域に亙る高氣壓の中心內地太平洋沿岸にあり滿洲一帶に亙る低氣壓との差は

▲**僅に十ミリ**を越ねざるを以て其の中間に在る朝鮮各地は全體に曇天又は雨天となり當分此の狀態を持續するべく且つ各地に小低氣壓が續々現はれ出で愈々

▲**例年の通り**の雨期の氣象を現はし來れり三日朝は大連木浦雄基等濃霧あり京城は朝來降雨あり平壤にては鴨綠江地方より小低氣壓行し來れるを以て午後二時頃より降雨ありたり

●北陸線の故障 溫泉旅館浴濟全部浸水

二日夜の雨にて北陸線に故障を生じ三日朝富山縣魚津三日市間及び石川縣金澤森本間にて土砂線路に流れ出で又芦原溫泉の各旅館浴濟全部浸水したり(大阪特電)

●偽の千圓束で 九百圓を捲上ぐ

京畿道楊州郡生れ京城芳山町居住金昇元、平北義州郡批峴面白金道(三三)鐵山郡生れ韓得河(三〇)義州老松町金奉周(三一)外二名は共謀し去る三月二十六日新義州眞砂町朴在錫を安東縣二番通り八丁目支那人姜殿淑方に誘致し十圓紙幣に紙を挾みたる偽せの千圓束を示し詐欺賭博をなして在錫より八百九十圓を捲上げて逃亡中何れも此程捕へられて安東領事館にて懲役處分を言渡されたり

●又も朝鮮人の新弟子 太刀山に弟子入り『龍山』の名を貰ふ

若藤に弟子入りした朝鮮人力士の健氣な志に刺戟されたわけでもあるまいが、朝鮮人の相撲趣味は大分高まつて來て今回の京城興行には◆**鮮人の見物**◆も可なり多かつたが二日の夕方平安北道宣川郡龍頭洞生れの曹奎赫(二〇)といふ者が自から太刀山に弟子入を申し込んで來た◆**試驗の結果**◆身長五尺七寸、體重十九貫で協會の新弟子採用の資格を立派に具へてゐるので太刀山は喜んで弟子入を約した、同人は◆**昨年の五月**◆に國許から出て來て龍山榮町の吉富といふ菓子屋に奉公してゐたが十七八貫もある砂糖の俵を樂々と提げて歩くのみならず身體も◆**人並外れて**◆大きく相撲が好きで今度の如きも初日二日と相撲見物に來る位であつたが、元氣のいゝ角力を見てゐる內に急に◆**相撲取にな**◆りたくなりしかも同じ朝鮮人の例の遠城山さんがゐるので愈々決心の臍を固め主人に相談すると喜んで贊成したのでさてこそ◆**今度力士と**◆して立つ事となり、太刀山からは龍山から出たと云ふ故を以て龍山といふ名を貰つた、同人の體格を見るに骨太で背も十分にあり◆**骨肉も張つ**◆てゐて眉目秀麗力士としての主なる要素を備へてゐるので努力次第によつては將來有望だらうとの事である

新弟子朝鮮人 曹奎赫

●少女劇藥を仰ぐ

京畿道開城郡中西面驚岩里居住久保田延太郎長女久保田よし(一七)は實父が用向きにて長湍郡へ外出中數日前自宅溫突內にて苛性曹達を仰ぎて自殺を企て苦悶中を雇人金萬龍(二三)が發見し開城片田醫師を迎へて應急手當を加へしかば生命には異狀なかるべしと同女は繼母と實父との三人暮しなるも常に繼母より叱責され家庭の不和なるを悲觀し自殺を企てしものならんと

●雇人の大金拐帶

大阪三品取引所仲買人島津補平方雇人寺橋正一(二二)は九千六百八十圓を銀行にて受取り其儘拐帶逃走せるが名古屋にて捕はる(大阪特電)

●女房悲慘の自殺

京畿道驪州郡大神面加山里農金日西妻成德順(三七)は數日間も食ふ物なきため去る十八日夫の留守方より白米三升五合を窃取し來りたること發覺したるより其の非行を悔いて同日夕刻多量の苦鹽汁を飲みて自殺を遂ぐ

●朝鮮荒しの賊

山口縣阿武郡紫福村生れの永岡忠右衛門(三二)は本年三月永登浦分監出獄後仁川にて湯屋稼ぎをなし居たるが其後平壤に高飛びして大和町床屋一龍軒にて衣類六點六十四圓を窃取し新義州に走りたる所を新義州署の刑事に捕はれ新義州支廳にて懲役二年の判決を受けたり

●酒から發狂投身

京畿道水原郡鄉南面上新里農成奉運(三九)は六月二十一日無斷家出して行衛不明中なりしが此の程同里安川河口に屍體となりて漂着し居るを發見し水原署より檢視し家族に引渡したるが同人は酒の爲め家産悉くを蕩盡し其の末發狂して投身自殺を遂げしものならんと

●下女二人の雲隱

大分縣別府濱脇生れ龍山漢江通十一番地小山方同居林すゐ(一七)大分縣北海部郡德浦村生れ龍山漢江通十一番地馬木方同居藥師寺てつ(一八)の兩名は此の程相携へて無斷家出し行衛不明となりたるが旅俳優か活辯かに關係し雲隱れしたる模樣にて目下搜索中なり

◎るいれき病にて永年苦しむ方も手術せず肥大せる淋巴腺を萎縮消散せしめ後尿に混じて體外に出る良劑あり郵劵二錢封入者に詳報す東京芝高輪北町二二救生堂

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城本町通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

時計貴金屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天龍堂 電話一二〇〇番 振替京城三〇四番

◎社員募集(日鮮人) ▲希望者は各地所在事務所へ來談 明治公債株式會社 朝鮮台灣中國九州營業本部 (釜山谷町二電話(三四三七七番))

外用 溶彈ブージー りん病藥 專賣特許 淋病醫藥 溶彈ブジ 定價 六日分 六十錢 十二日分 壹圓 送料 內地八錢 (33) 東京日本橋南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三二三七三 全國賣藥店にあり 內服 ゴナール 定價(五十粒入 六十錢)(百粒入 壹圓)

品切れの處 セメント著荷 京城古市町一四 官營無煙煉炭一手販賣 各種石炭商 苫米地商店 電話九四一番

內科 小兒科 (入院隨意) 京城櫻井町(電二七一番) 池上醫院

懸賞當選者發表

大正六年二月二十六日、二十七日、廿八日の三日間帝國劇場に上場し空前の記錄を殘し我學界に大覺醒を與へたる東京小林商會秘藏の大寫眞沙翁晩年の大著

MACBETH 史劇 マクベス 全九卷 壹萬尺 ファインアーツ製造

トライアンクル總合會社米國レライアンス社發賣世界に誇る英國劇壇の泰斗沙翁劇の成功者サー・ハーバート・ツリー卿及び世界一の舞臺監督ジョン・エマーソン氏等がベストに成る世界一文藝大寫眞(マクベス)はロンドンにて最低二磅ニウーヨークにて十弗帝國劇場にて五圓の觀覽料にて公開せり

早川演藝部は滿鮮內の映寫權利を獲得し近く京城有樂館に三日限り(晝夜二回)公開す之れが說明應援として東京辯士界の權威小林商會辯士長黑澤松聲氏を招聘せり

▽先般京城日報紙上に於て發表せし「近く有樂館に於て三日間限り公開されんとする『カビリア』以上の世界的文藝大寫眞とは?」懸賞募集致候處應募者意外に多數に達し既定の七月三日午後一時より有樂館樓上に於て新聞記者及答案者二名立會の上公明なる審査の結果左記の通り當籤

▲壹等賞 京城本町四丁目五六 佐野貞一
▲貳等賞 京城本町四丁目丸山商店內 吉田彥助
▲參等賞 京城本町三丁目 渡邊喜代三
▲四等賞 岡崎町三番地 待井三郎方 木村秀一
▲五等賞 京城漢江通 白木義一方 白木光一

◎選外正答に近きもの二十四名に對しては各粗品を進呈す

京城櫻井町一丁目 電話長四四七番 早川演藝部

花筐（四四）

松田竹の島人作

京子は、お豐が田淵の犬と爲つて來たとは氣付かなかつたから、お豐は田淵を買ひ被つて、親切と言ふのだと思つた。だから然うでないことを、言葉を濁して言つたけれど、お豐が尙且田淵を信じ切つてゐるらしいので、日外濱邊に於ける彼れの所爲を話つて聞かした。

お豐の方では、京子から叱と其事を聞かされると覺悟してゐたが、果して喋し出されたから、逓しい擧動で聞いた。

田淵さんは、如何に奥樣が言ふことを肯かねからといふて、足蹴に爲るとは暴過だ。其樣氣短かで遂

げられるものではない。それ程の亂暴を爲てゐる田淵さんへ、奥樣が靡くやうに爲るのは、一と通りの骨折では駄目だ。けれども田淵さんが、充分の謝禮を遣るといふから、是非とも旨く遣り遂げねばならぬと、お豐は思つた。丁度京子は前門の狼をもいふ田淵を追ひ退けたが、茲にお豐に附き纏はれるのは、後門の狼ともいふやうなものであつた。

『ですけれど奥樣、田淵さんがそれ程に爲さるのは、熱心に奥樣を御愛しに爲つてる證據ぢやございませんか？』

『だつてお前、足蹴に爲るなんて、失敬ぢやなくつて。』

『田淵さんが親切に爲すつて居たのに、奥樣が御承知遊ばさないもんですから、遂漸々と腹を御立てに爲つたのでございますよ。能く言ふぢやございませんか、腹を立てるのは、人が好いからだつて、何んと言はれても、怒りも爲ないで程の良いことを言ふ者が、腹の惡るい人なんですつて、田淵さんが、奥樣の仰る通りの惡るい方なら、何んで此んなに、奥樣の居らつしやるところを敎へて下さるもんですか。』

お豐は、程よく田淵の辯護を試みる。

『お前の言ふことは至當のやうだけれど、田淵さんは自分の戀を遂げやう爲めの造り親切で、眞個の心から親切ぢやないと思ふわ。市野といふ夫があり、然うして花枝といふ子まであるのに、今更田淵さんの妻に爲るといふことが能きやうか能きまいか考へて御覽、縱令旦那樣が、花柳界に入り浸りだつたり、妾狂ひを爲さるからといつて、自暴自棄を起して、貞操を破る譯には往かないぢやなくつて、妾が家出したのは惡るいけれど、それは旦那樣の御道樂を直さうと思つたからだからね。』

京子は、嫉妬心は強かつたが、父が島泰民の嚴しい訓育には、婦人の大切なものは貞操といふことを、能く知つてゐた。

お豐は、餘り諄く田淵のことをいふて、自分が賴まれて來たことが、京子に氣付かれでも爲てはならぬと思つたから、嘶を外へ移し、此場は好い加減に誤魔化して了つて、最う田淵のことはぷッつりとも言はなかつた。

其晩お豐は泊ることに爲つたが、風が強く、吹いたので、打ち寄する浪音が高く騷々しくつて眠付かれなかつたから、京子を田淵へ靡かせる工夫を、種々と考慮へてみた。

奥樣の彼の口振では、大抵のことで田淵さんに靡きはなさらない。だから什麼でも恁うでも靡かなければならない派目と爲る工夫を爲るに限る。奥樣は手許に今何の位の金を持つてゐるか、然う大したことはあるまい。今は何處からも金を送つて來るところはないから、手許の金を皆使つて了うと、其日を送つて往くに困る。其處へ田淵さんへ金を出させて、金の爲めに厭や應なしに、承知なさるといふやうに爲やう。然うするには、何んでも早く、奥樣の手許の金を使はせて了うことだとお豐は思つた。

諸御官用贈答　山羊乳　京城獨立門東側　山羊牧場　電話一七七二番

名刺　京城　太平堂　電話二七一二番　振京三三六七番

一日一句

音樂堂の屋根が赤い若葉の深い振り　黄丘
塵つもるなげしの槍や蟲啣ふ　案山子
谿間へ吸ひ込む風や清水汲む　浩一郎
宵の灯映す青葉蛙も何處やらに　瀨村

新刊紹介

▲煙草試作成績（一二號）度支部專賣課大邱出張所第六報にして總說、直營試作、參考調査、内地種煙草嗜試耕作事業報告の四章に分ち各章更に項を分ち節を設け以て大正四年施行に係る同出張所の煙草試作成績を詳細に記載せるもの（非賣品朝鮮總督府）

▲新演藝（七月號）鏑木清方作の箕輪心中の口繪は他に艶麗なる十色刷石版口繪にして幸四郎の水戶光圀卿、左團次延若の信玄謙信、梅幸羽左衛門のお祭佐七、雁治郎の源藏魁車の戶浪、伊井、河合、喜多村の誘惑劇等の二色三色版其他東西兩都の代表的演劇の舞臺寫眞十數葉を卷頭に記事には松居松葉、小山内薫、市川段四郎、中村芝翫、香取染之助、平井挑水其他の劇評感想、演劇談等依例盛にし（三十八錢東京芝公園地九玄文社）

▲婦人畫報（七月號）依例名流家庭及婦人社交界に關する寫眞數十葉を以て卷頭を飾り讀物には新渡戶博士の眞情の流露、瀨川博士の油斷のならぬ子供の病的症狀、佐々木博士の深井外三婦人の珠想及料理、化粧、服飾、家政、挿花等家庭向の好讀物數十を收む（三十錢東京々橋區疊町一東京社）

▲面白倶樂部（夏季增刊號）（涼しいもの號）この短句に敏捷く連想さるる、滑稽、皮肉、諧謔、深謀、遠慮、奇問、珍答、頓智、逸話を主とし『前田銀藏抄』『武田仰天子』『斯んな男』『本田美禪』『大股遊』『前田曙山』『忠臣親珍物語』『海賀變哲』『定助物語』『江見水蔭』『奇行と伴内』『と御直』『塚原澁柿園』『同好左内』『大倉桃郎』『笑話純金』（伊藤みはる）『田沼龍之介』『猿波曉花』『一休頓智記』（村田米吉）等の名作揃ひ及新詩、拾賦、怒塊、花柳、學生界、狂歌等豐富なり（本號に限り二十錢東京市本郷區駒込坂下町四八講談社）

▲●●●朝鮮滿洲汽車汽船旅行案内●●●（七月號）全國鐵道線路圖及朝鮮滿洲鐵道線路を卷頭に掲げ時間賃金哩程表は朝鮮鐵道、滿洲鐵道、民國鐵道、東清鐵道及朝鮮郵船會社汽船の各部に分ち尙各鐵道旅客規定を附せる等一般旅行案内と異なるなし（十五錢京城本町其社）

▲學生（七月號）夏期休暇來れり之を活用する方法如何、試驗通過の秘訣は受驗の前習に在りなる題下に六博士十一名の說を載せたるは中學生の必讀の灯文字にして其他十數の記事亦溌剌たる銳意と淸々たる興味に滿てり（三十錢東京神田表神保町冨山房）

皮膚科　皮膚病　黴毒病　痳病　膀胱病　生殖器　機能障碍　入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目（元工嗜町）　佐藤醫院　（電話一一七三番）

▲財政經濟時報（七月號）金融政策に關する當面の諸問題（本多博士）は同博士獨特の意見にて最も精讀の價値あり其他製鐵事業統一論、日支親善の秘訣、戰後の米國と歐洲、戰後の工業及勞働問題等記事豐富なり（二十七錢東京京橋區尾張町一丁目其社）

▲東洋時報（六月號）國體と祭法（清水博士）長江以南の金融（田中英一）雲南視察談（香藤登吉）支那航運業の將來（淺生永助）等（五十錢東京麴町内山下町東洋協會）

▲現代の圖案工藝（七月號）納涼號と稱し伊東、本多、瞶野各博士を初め意匠、圖案、設計其他工藝各専門家の記事を滿載せり（二十五錢東京赤坂青山南町二の四〇其社）

▲南洋（六月號）南領東印度に於ける商標從業問題、熱帶生活と衛生、印度貿易と日本商人其他南洋の實際開拓に資すべきもの數多（二十錢東京々橋區南町一の三其社）

▲日本一（七月號）前號より體裁、内容共に革新せる本誌は内容漸く多趣味にして而も本誌の特色を失はず一般家庭に推薦す（二十錢東京々橋區三十間堀三ノ七其社）

▲圖書通信社月報（四の六）（非賣品東京芝櫻川町七其社）

▲宗報（六月號）（五錢京都烏丸大谷派本願寺内其社）

▲ランフォルマシオン、テキストーム、オリエン（第九）（五十錢東京々橋栄…）

▲新報知（三月號）（二錢東京々橋區南傳馬町三其社）

▲角力世界（六月號）（二十錢東京々橋區築地一の二其社）

▲大田實業協會月報（六月號）（八錢大田本町二大田實業協會）

▲我が家（七月號）（五錢東京麴町飯田町二の五二帝國在郷軍人會）

▲商と工（六月號）（二十錢東京々橋新肴町一二其社）

▲帝國水難救濟會大正五年度記事（二五三）（非賣品東京其社）

讀者の領分

斷ではないか斯かる不屆者に對しては今日の法律とか警察とかには何等かの制裁を加ふる法は無きものなり。諸君の如き大に講究しては如何（一公民）▲京城水道の斷水は半ば使用者の不德義に基くといふ事であるが此頃朝鮮人町を歩いて見ると共用栓の開け放し、漏水、故障等の多いには驚く、之を防止するの途は共用栓使用者數を決定し置き其總代を定め責任を以て絕えず監視せしむるに在る若し監視を怠り開放漏水故障等を放置し居るを發見したるときは相當の罰を科すべし、斯くて自治的に水の浪費を防止する外に途はない仁政とは撫でる許りが能ではない偶には拳骨が必要である因に今日の巡視の如きは甚だ効力が少ない長屋總代の▲此の暇い穢い朝鮮人が毎日五六度もやつて來て塵芥箱を突せ返して行くには全く困る彼麼ものは取締る方法はありませんか（迷惑生）▲西大門外の某官舍の大きな野犬（無屆だから）は當り放題近所の者でも誰でもかみ付く今迄十人餘りもやられたにも拘らず家人は平氣處か其位でなければ番犬にならぬとて喜んで居るとは非常識極まる時節柄迷惑千萬だ出來るなら其の筋の御手を煩はしたい（被害者の一人）

▲京城府民の稅金滯納者の多いことは決して名譽ではないが何く所に依れば本町邊に住む堂々たる實業家にして金利關係より打算して殊更に滯納するの みならず之を公言して憚らぬ横著者があるといふ事である實に言語道

商況

下關期米特電

三日後場（正米高）
［illegible］

仁川期米

止め　二二、六七　二二、〇〇

▲三日後場大阪前止二十四圓ドヌ後寄米著にて當地寄出來不申中十九圓十三錢より四錢と揚げ［illegible］

▲保合小甘し

天候後寄前より前雨となり大阪の降止迄に二十四圓［illegible］と最高値を報じたるも後寄各地共米著賣屋［illegible］て十九圓七十錢と小甘く寄付きの其他より賣物多く六十錢さ押したるが今の其他より買物多く大阪跡高を移して七十三［illegible］

▲今日　同店の賣千餘石買六千餘石
▲今日　同店の賣二千餘石買三千餘石
▲三日　同店の賣二千餘石買千餘石
▲二日　同店の賣二千餘石買二千餘石
▲前日　同店の賣二千餘石買二千餘石
▲同日　同店の賣千餘石買千餘石

▲仁川在庫品

［illegible］植付も漸く［illegible］の植付を終るに至るならんか本月二日の調査に係る穀物協會よりの發表したる在庫品左の如し

玄米　一五五、七七八　白米　二、五七七
大豆　二〇七二　小豆　一、八三六
［illegible］

查に依れば前回より二萬〇六百〇四叺を減じ白米二千五百七十八叺を減じ粗二千〇六十六俵を增加したり其他大豆小豆小麥糯米は減少し花子大麥粉米栗等は增加したり

▲後場中限［illegible］

後場

寄付　止　三日の九月限　十九圓七十錢　［illegible］

六十九錢七十錢六十八錢七錢五錢六錢七錢

◉警報（三日午後三時測候所發）

風雨强かるべし低氣壓は山東半島に在り七百四十八耗を示し東北に向つて進行しつゝあり黄海道、京畿道、忠淸南北道［illegible］

芳香健膚藥　肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする　◯ミツワ雪の雫

MITSUWA SKIN TONIC.

Mitsuwa Yukino Shizuku (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. It makes you more beautiful—more attractive—more charming. Price 50 Sen.

本劑は皮脂を除きて皮膚を淸淨ならしめ、皮膚の硬化せる組織を弛緩し緻密にして粗糙を滑にし、皮膚の血行を進めて其の色沢を艶麗ならしめ、皮膚に於ける新陳代謝を旺盛にして健全なる皮膚組織の新生を促すが故に、日常本劑を用ふれば、皮膚を强健清潔にし能く皮膚の眞美を發揮せしめ、皮膚乾燥、鄙野、凍傷、雀斑、面皰、火傷等に良効を奏し、能く之を自分下に應用すれば、自然のの、のいを良くし、彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

定價　金五拾錢

（現品縮寫圖）

肌着用香水　芳香馥郁として淸爽の感を與ふる　◯ミツワ花の雫

EAU DE FLEURS.

made from the best material by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion to your underwears, towels, handkerchiefs, sheets or water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing. Price 45 Sen and 70 sen.

優秀なる原料と熟練なる技術とを以て精製せられたる本品は、溫雅なる芳香を有し、淸涼爽快の感を與ふる家庭必需の香水なり、在來の肌着用香水の類には徒に强烈なる香氣を發し、手巾、衣服等に振掛くれば、厭ふべき汚點を殘すもの多きに反し、本品は人を魅するが如き馥郁たる芳香を放ち、肌着、手巾、敷布其の他に振掛くるも、毫も汚點を殘す憂なく、又洗顏入浴に際して洗面盥浴槽等に用ふれば、能く淸爽淸涼の感を齎らすこと他に之に比すべきものなし、實に本品は各家庭に常備すべき理想的香水なり。

定價　金四拾五錢　大壜　金七拾錢　內地外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

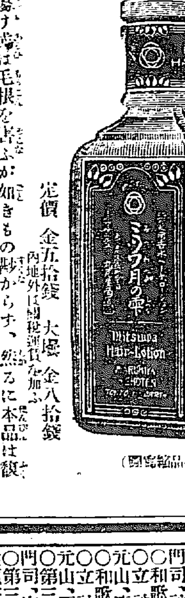
頭髮用香水　毛髮を艶美にし溫雅の芳香を放つ　◯ミツワ月の雫

MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling. Price Sen 50 and 80 Sen.

從來の頭髮用香水には、或は毛髮を傷け或は毛根を害ふが如きものの尠からず、然るに本品は馥郁たる佳香を發し、毛髮の營養發育に良効を呈するが故に、ミツワ石鹸を以て、毛髮を淸洗せる後、本品を用ふれば、品質優良にして毛髮の衛生に適せるなり、毛髮の發育を助け、營養を良くし、自ら爽快の感を得、頭腦淸新と脱毛及雲脂の過剩を防ぐの効あり、要するに本品は毛髮を害ふことなく、其の色澤を艶麗ならしめ、は、須臾も缺くべからざる完全の頭髮用香水なり。

定價　金五拾錢　大壜　金八拾錢　內地外は關稅運賃を加ふ



（現品縮寫圖）

ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　人蔘葡萄酒　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス

發賣元　◯　東京市日本橋區通油町四丁目　藥劑、藥品、石鹸、香粧品、小間物問屋　登錄商號　丸見屋商店　電信略號◯ミヤ　振替貯金口座東京七一〇番　電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　七月十二日後五時出帆
○和歌浦丸　七月廿三日後五時出帆
○立神丸
○元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸　七月廿二日後十時出帆
○立神丸　七月十一日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天貝丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行　關東都督府命令航路
第廿一共同丸　七月六日午後入港　七月八日前十時出帆
朝鮮總督府主要驛にて荷客連絡取扱仕候　大連にて満鐵各驛行定期船接續荷客共通輸送可仕候
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店（春日町電話二四四七番）　田口回漕部
京城取次店（南大門電話二六八・二〇一七）　河村運送店

大邱浦項間自動車時間
上り　浦項發前六、〇〇　一番　二番
安康同　…　下り　大邱發前…
大塚農場自動車所　電話一二七番　大邱出張部
［illegible］

醴泉金泉間自動車時間
上り一番　二番　金泉發　…
下り一番　二番　…
▲小荷物運搬仕り候　金泉自動車支部　金泉電話四八番
［illegible］

朝鮮郵船出帆
○忠淸丸　七月十四日
○京畿丸　七月二日
○柳川丸　七月九日
○咸鏡丸　七月十九日　（門司より釜山各港寄港雄基間航路）　釜山發
○穩城丸　七月三日
○三浦丸　七月　日
○鏡城丸　七月七日　（元山より各港清津間航路）　元山發
○慶寶丸　七月二日　（釜山發元山行）　釜山發
○盈德丸　七月三日　（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行）　釜山發
○江陵丸　○襄陽丸　毎日　（長生浦方魚津甘浦九龍浦寄港）　釜山發浦項發
○昌平丸　七月七日　（長承浦、巨文島、濟州島各寄港）　釜山發
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　毎日　（各港經由麗水行（三日目一回木浦行））　釜山發
○平壤丸　七月五日　（城津淸津浦鹽行）　元山發
○順天丸　三日目毎ニ　（各港經由麗水行麗水より釜山行に連絡）　木浦發
○南陽丸　七月　日　（各港經由莞島行）　木浦發
○金海丸　七月七日　（各港經由濟州島行東廻）　木浦發
○金州丸　七月二日　（新多島、仮列島行月三回）　木浦發
○公州丸　七月四日　（各港經由濟州島行西廻）　木浦發
○麗水丸　七月三日　○晋州丸　七月九日　（各港經由木浦行）　仁川發
○宗信丸　七月　日　（海州他各港經由鎭南浦行）　仁川發
○全州丸　○錦江丸　毎日午前　（江華島、桐島海州行）　仁川發
本社　電話長一九五二番二三一番　京城南大門驛前　京城荷客取扱店　松原運送店（電話長一七〇番）

醤油の大王キッコーリウ　味噌の横綱

大賣出し　京城黃金町長橋町入口　電話二九一・二六番　商品擔保便利取扱　田村質店

▲書籍御案内▼
友誼社　民政要覽　假一、〇〇　郵稅一〇
吉坂館　名貞觀政要　價一、五〇　郵稅一〇
成德堂　撞球指南　價一、〇〇　郵稅一〇
同　酒餅論　價一、〇〇　郵稅一〇
德富猪一郎　江和尚錄　價二、〇〇　郵稅一〇
同　月世界の變局　價一、五〇　郵稅一〇
米　蔵三　牛　價一、〇〇　郵稅一〇
同　商工界の七十日　價一、〇〇　郵稅五
同　修學行商日記　價、三五　郵稅六
同　紐育市内外の地所　價、九〇　郵稅六
京城日報社代理部（振替京城二〇〇）

尼崎汽船仁川出帆
○若松丸　七月八日後四時出帆
○大仁丸　七月四日後四時出帆
○大吉丸　七月　日後四時出帆
○秀代丸　六月　日後四時出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
仁川海岸通一丁目九番地　電話五十二番　杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）、牛莊行
○操丸　七月廿六日正午出帆
和砂丸　七月五日正午出帆
高河丸　七月十五日正午出帆
三河丸　月　日
仁川海岸町一丁目　電話…　回漕店

大阪商船仁川出帆
○外航路各船は乘船切符御購求の上御乘船を乞ふ
●神戶、大阪行
△瀨東丸　七月十四日
△汕頭丸　七月四日
×南部丸　七月二日　後二時出帆
×汕頭丸　月　日後五時出帆
●神戶、大阪行
●木浦、釜山、嚴原、鹽の浦、長崎行
×安東丸　七月卅一日
×安東丸　七月十二日　後二時出帆
○横濱行
×漳州丸　七月
△福州丸　月廿七日　後二時出帆
●南浦行
△基隆丸　月
△福州丸　七月十一日　正午出帆
●鎭南浦、大連行
×安東丸　七月
×安東丸　七月廿六日　後二時出帆
●大連直航
△漳州丸　月　日
△福州丸　月　日　正午出帆
●西湖津新浦城津淸津行（元山出帆）
宮島丸　七月十日後十二時出帆
●淸津行（元山出帆）
安平丸　七月二日後十二時出帆
●上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　七月廿三日前四時出帆
基隆丸　七月六日後四時出帆
御注意　●印は京釜鐵道及び南滿洲鐵道と連絡切符發賣仕候　●印は鐵道沿線各驛と●印は二時間前迄に乘船御申込の事
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二二番、二二〇番、五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開豐旅館　電話二六一番